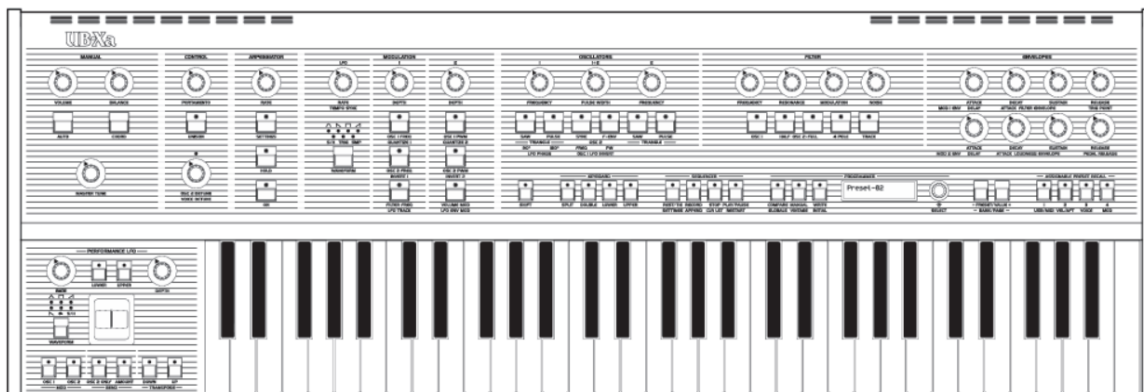


User Manual



UB-Xa

クラシックなアナログ 16 ボイス マルチティンバー ポリフォニック シンセサイザー
8 つのヴィンテージ モード、デュアル VCF、61 キー ポリ アフタータッチ キーボード

02=====

==

目次

UB-Xa へようこそ -

はじめる4
特徴5
プリセットを呼び出す、または 保存されたパッチ、作成 新しいパッチ、パッチを保存する5
手動制御	6
後面パネル	20
プリセットパッチ.....	20
用語集	31

03=====

==

EN Important Safety Instructions

重要な安全性
説明書



この記号が付いている端子には、
十分な大きさの電流感電の危険があります。
高品質のプロフェッショナル向けスピーカー ケーブルのみを使用してください。
ツイストロックプラグがあらかじめ取り付けられています。他のすべてのインストールまたは
変更のみを実行する必要があります
有資格者による。



このシンボルは、どこに表示されても、
絶縁されていないものの存在を警告します
内部の危険な電圧
エンクロージャ - エンクロージャを構成するのに十分な電圧
ショックの危険性があります。



このシンボルは、どこに表示されても、
重要な操作や注意事項を警告します。
のメンテナンス手順
付属の文献。マニュアルをお読みください。



注意

感電の危険を軽減するために、次のことを行わないでください。
トップカバー（またはリアセクション）を取り外します。
内部にはユーザーが修理できる部品はありません。修理については、
有資格者。



注意

火災や感電の危険を軽減するために、
この機器を雨にさらさないでください。
水分。装置は水滴にさらされてはなりません
または液体が飛散し、液体が入った物体がないこと。
花瓶などは装置の上に置かなければなりません。



注意

これらのサービス説明書は使用するためのものです
資格のあるサービス担当者のみが作業を行ってください。
感電の危険を軽減するため、いかなる行為も行わないでください。
オペレーションに含まれるサービス以外のサービス
説明書。修理は資格のある人が行う必要があります
サービス担当者。

1. これらの説明をお読みください。
2. この指示を守ってください。
3. すべての警告に注意してください。
4. すべての指示に従います。
5. この装置を水の近くで使用しないでください。
6. 乾いた布のみで拭いてください。
7. 通気口をふさがしないでください。にインストールします
メーカーの指示に従ってください。
8. 熱源の近くには設置しないでください。
ラジエーター、ヒートレジスター、ストーブ、またはその他の機器
熱を発生するもの（アンブを含む）。
9. 極性の安全目的を無効にしないでください。
またはアースタイプのプラグ。極性プラグには 2 つのブレードがあります
一方が他方よりも広い。アース付プラグ
2 つのブレードと 3 番目の接地突起があります。広い
ブレードまたは 3 番目のプロングは安全のために提供されています。もし
付属のプラグがコンセントに適合しない場合は、販売店にご相談ください。
古いコンセントの交換は電気技師に依頼してください。
10. 電源コードを踏んだり、踏んだりしないように保護してください。
特にプラグ、コンセント、
そして装置から出る地点。
11. 付属品は、指定されたもののみを使用してください。
メーカー。



12. 必ず使用してください。

カート、スタンド、三脚、ブラケット、
または指定されたテーブル
メーカー、または販売されている
装置。カートのとき
が使用されている場合は注意してください
カート/装置の移動
避けるべき組み合わせ
転倒による怪我。

13. 雷雨のときは、この装置のプラグを抜いてください。
長期間使用しない場合。

14. すべての整備は資格のあるサービス担当者に依頼してください。
装置が故障した場合は保守が必要です
電源コードやプラグなどの何らかの損傷がある
破損している、液体がこぼれている、または物が落ちている
装置内に侵入した場合、装置は露出しています
雨や湿気の影響で正常に動作しない、または故障している
落とされた。

15. 装置は主電源ソケットに接続する必要があります。
保護接地接続付きのコンセント。

16. MAINS プラグまたはアプライアンスのカプラーが取り付けられている場所
切断デバイスとして使用される場合、切断デバイスは、
容易に操作可能な状態を維持します。



17. 本製品の正しい廃棄方法

製品: この記号は次のことを示します

この製品は廃棄してはなりません

家庭廃棄物と一緒に、

WEEE 指令に従って

(2012/19/EU) およびあなたの国籍

法。この製品は摂取する必要があります

認可を受けた回収センターへ

廃電気・電子機器のリサイクル

(EEE)。この種の廃棄物を誤って処理すると、次のような問題が発生する可能性があります。

環境や人体に悪影響を与える可能性がある

潜在的に有害な物質による健康

一般に EEE と関連しています。同時に、あなたの

この製品の正しい廃棄にご協力ください。

天然資源の効率的な利用に貢献します。

どこで持ち運べるかについて詳しくは、

廃棄機器のリサイクルについては、お近くの地域にお問い合わせください。

市区町村役場または家庭ごみ収集サービスに問い合わせてください。

18. 本などの狭い場所に設置しないでください。

ケースまたは同様のユニット。

19. 火のついたものなどの裸火源を置かないでください。

キャンドル、装置上。

20. バッテリーの環境面を守ってください。

処分を念頭に置いて。バッテリーは次の場所で廃棄する必要があります。

バッテリー回収ポイント。

21. この装置は熱帯および中程度の環境で使用できます。

気候は 45°C まで。

法的放棄声明

Music Tribe は、いかなる損失に対しても責任を負いません。
完全に、またはそのいずれかに依存する人は誰でも苦しみます。
説明、写真、または声明の一部
ここに含まれます。技術仕様、外観
およびその他の情報は予告なく変更される場合があります。
知らせ。すべての商標は彼らの所有物です。
それぞれの所有者。ミダス、クラーク・テクニク、ラボ・グルッペン、
レイク、タンノイ、ターボサウンド、TC エレクトロニック、TC ヘリコン、
Behringer、Bugera、Aston Microphones、Coolaudio
はミュージックの商標または登録商標です。
Tribe Global Brands Ltd. © Music Tribe Global Brands
Ltd. 2023 無断複写・転載を禁じます。

限定的保証

適用される保証条件については、
Music Tribe に関する追加情報
限定保証。詳細については、オンラインをご覧ください。
[Community.musictribe.com/pages/support#warranty](https://community.musictribe.com/pages/support#warranty)。

04=====

==

UB-Xa へようこそ - はじめる

Behringer UB-Xa - 伝説的な 1980 年代のポリシンセをお買い上げいただきありがとうございます
ます
多数の新機能を備えて最新の状態に更新されました。

開梱

UB-Xa を慎重に開梱してください。次に、損傷の兆候がないか注意深く検査します
輸送中に発生した可能性がありますので、次の場合は直ちに宅配業者に通知してください。
どれかを発見してください。

UB-Xa 機器パッケージの内容を確認してください。部品があれば
不足している、間違っている、または欠陥がある場合は、最寄りの代理店または MUSIC Tribe

にお問い合わせください。

サポート。

このボックス内には次のアイテムが入っています。

- UB-Xa
- IEC 電源ケーブル
- クイックスタートガイド

返品が必要になった場合に備えて、元の梱包材は保管しておいてください。

機器をメーカーまたはサプライヤーに送付するか、後でユニットを輸送してください。

インストール

この装置を設置して操作する前に、正しく設置されていることを確認してください。

主電源ソケットの保護接地線に接続

電源リード線を介してコンセントに接続します。

理想的には、配電機器やその他の機器から離れた、涼しい場所が望ましいです。

潜在的な干渉源。

換気の悪い場所には装置を設置しないでください。これをインストールしないでください

過度の熱、ほこり、または機械にさらされる場所にある機器

振動。

装置の周囲に十分な換気を確保し、ファンが確実に作動するようにします。

通気孔は塞がれていません。

可能な限り、機器は直射日光の当たらない場所に保管してください。

パワー

内部電源は自動で動作するスイッチモードタイプです。

入力される主電源電圧を感知し、公称電圧が存在する場所で動作します。

100V~240V~、50Hz または 60Hz の範囲。

ユニットが出荷された地域での接続に適したリード線は次のとおりです。

本体に付属しています。

機器は、付属のプラグを使用して主電源コンセントにのみ接続してください。

リードします。

付属の電源ケーブルに取り付けられているプラグがしっかりと接続されていることを確認してください。

ユニットの主電源 IEC コネクタ。

プラグの着脱時は必ずプラグ本体を持ち、絶対にプラグを使用しないでください。

ケーブルが損傷する可能性があります。
濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。

ウォームアップタイム

UB-Xa がウォームアップするまで 15 分以上の時間を置くことをお勧めします。
レコーディングやライブの前に。(海外から持ち込まれた場合はさらに長くなります)
これにより、精密回路が通常の動作に達するまでの時間が可能になります。
温度と調整されたパフォーマンス。
電源を入れる前に、UB-Xa をミキシング デスクまたはアンプに接続します。力
まず UB-Xa の音量を最小にしてください。ミキサーの電源を入れるか、
UB-Xa の電源を入れた後、アンプをオンにします。常にゆっくりと音量レベルを上げてくださ
い。
UB-Xa を別の楽器にチューニングする必要がある場合は、マスター チューンを使用してくだ
さい。
UB-Xa がウォームアップして内部調整が完了したら、制御を開始します。マスターチューン
コントロールには 12 時位置にデッドゾーンがあり、440Hz の標準チューニングに設定されて
います。

ソフトウェアのセットアップ

UB-Xa は USB クラスコンプライアント MIDI デバイスであるため、ドライバーのインスト
ールは不要です。
が必要です。UB-Xa では、追加のドライバーを使用する必要はありません。
Windows と MacOS。

ファームウェアのアップデート

behringer.com Web サイトで最新情報を定期的にチェックしてください。
ベリンガー-SYNTH TRIBE アプリ。

05=====

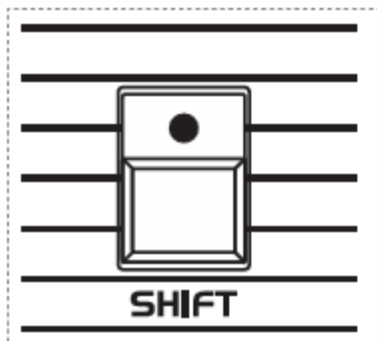
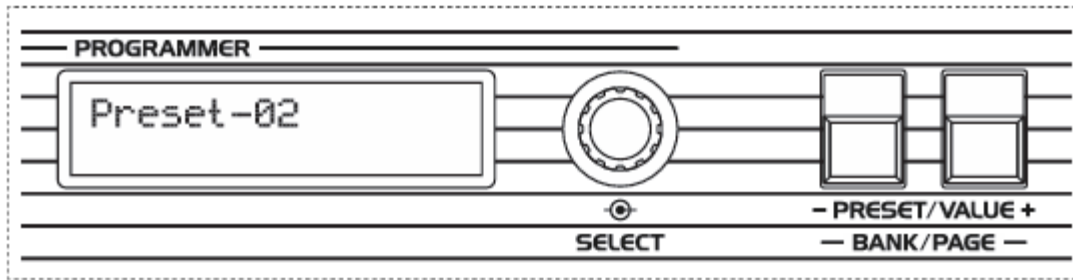
特徴

- ボイスごとに 2 つのアナログオシレーターを備えた 16 ボイスのバイティンバー

- 切り替え可能な 2 極 (12 dB/oct スロープ) または 4 極 (24 dB/oct スロープ) VCF
- VCF および VCA 用の 2 つの ADSR エンベロープ
- 6 波形 LFO
- ユニゾンモード
- キーボードの分割と二重化
- プログラマブルシーケンサー
- 多彩なアルペジエーター
- 包括的な変調オプション
- 512 パッチメモリー
- 35 分割キーボードプログラム
- 35 倍増プログラム
- 各パッチメモリーに 64 ステップシーケンス
- ビブラートとフィルターのフットペダル オプション (ペダルは含まれません)
- ステレオ出力
- DIN および USB 経由の MIDI コントロール
- 下部と上部の個別の MPE ピッチベンド、フィルター、マトリックス コントロール
キーボード

**プリセットまたは保存したパッチを呼び出して、
新しいパッチを作成し、パッチを保存する
パッチ**

プリセットパッチまたは自分で作成したパッチを呼び出すには、Shift キーを押します。
ボタン (LED 点灯)、バンク/ページ ボタンを押して必要なパッチ バンクを選択します。
(A~D)。次にシフト ボタンをもう一度押して (LED オフ)、プリセット値を使用します。
+/- ボタンまたは選択コントロールを使用して、選択したバンク内のパッチをスクロールしま
す。
スクロールするとパッチがロードされます。電源を入れると、最後に使用したパッチがロード
されます。



ロードされたパッチは、トップパネルのコントロールを使用して変更できます。ご注意ください

パネル上のコントロールの物理的な位置は、

コントロール設定が変更されるまで、保存されたパッチ内のそのコントロールのレベルは変更されません。

プログラマーディスプレイには、編集中のパラメータの名前と値が表示されます。

リアルタイムで、UB-Xa を次のように切り替えてパッチを最初から作成することもできます。

手動モードとトップパネルのコントロールを使用してパッチをビルドします。

変更または新しい作成に満足したら、次のように書くことができます。

「書き込み」ボタンを押し、+/- ボタンを使用してメモリに書き込みます。

メモリの場所を選択します。ロータリーエンコーダーを押すと設定が書き込まれます。

選択したパッチスロット。Write ボタンを 2 回押すと、即座にパッチが保存されます。

現在の場所を既存の名前で表示します。

別のバンクに保存したい場合は、Shift キーを押して (LED 点灯)、次までスクロールします。

銀行/ページボタンを使用して必要な銀行を選択します。次に、もう一度 Shift キーを押します

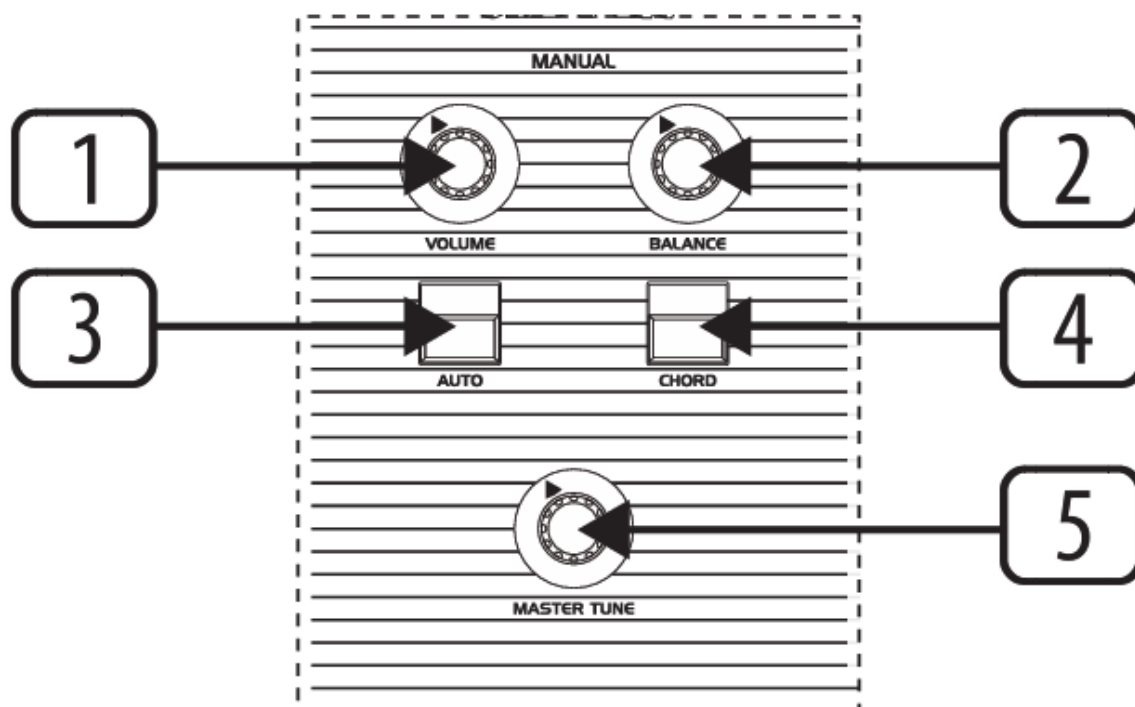
(LED

オフ)、+/- ボタンを使用して必要なスロットを選択します。

書き込まずに別のパッチに変更すると、編集内容は反映されません。

保存されました。

マニュアル・コントロール



(1)

ボリューム/VOLUME – アンプやアンプに対する UB-Xa の全体的なレベルを制御します。ミキシングデスク。一部のパッチは保存されているため、変更する場合は注意が必要です。パッチは他のパッチよりも大きくなります。UB-Xa を推奨します。ボリュームを最小にしてアンプの前に電源を入れるか、接続されているミキシングデスク。

(2)

バランス/BALANCE – スプリットまたはダブルプログラムを使用する場合、バランスコントロールプログラムに関連付けられた 2 つのパッチ間のレベルを調整します。スプリットプログラム（鍵盤を下段に分割したプログラム）を使用している場合

と上部、それぞれに独自のパッチがあります) バランスコントロールを
左は下の鍵盤を強調します。右上が上。いつ
ダブルプログラム (2 つのパッチが演奏されているプログラム) を使用する
同時に) 左に回すと、関連するパッチが強調されます。
下部キーボード。右上。スプリットおよびダブル プログラムの詳細

(3)

オート/AUTO – UB-Xa はバックグラウンドで自動キャリブレーション ルーチンを実行しま
す。
([グローバル]>[その他]メニューの設定によって異なります)。オートを押すと
ボタンは現在の校正状態を表示します。ボタンを押し続けると、
ルーティンランニング。

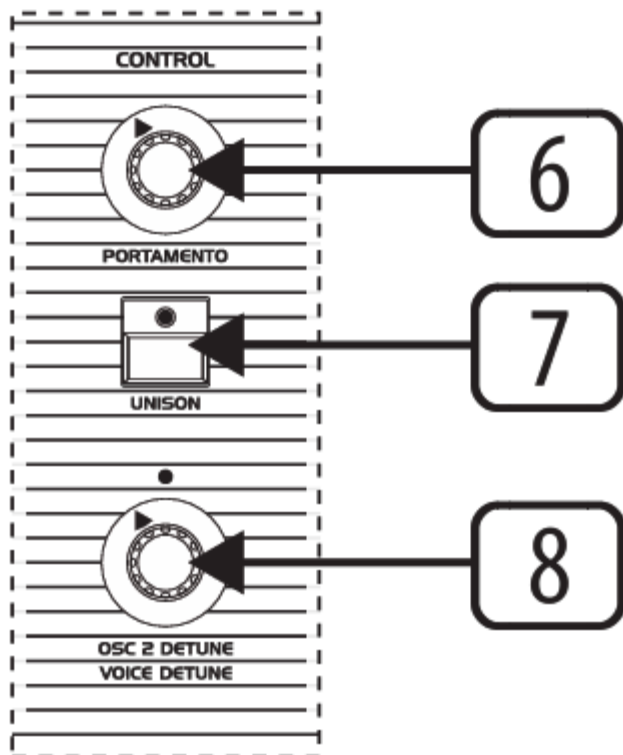
(4)

コード/CHORD – キーボードでコードを押しながらコードボタンを押します。
を使用すると、キーボードの任意のキーを使用してそのコードを演奏できます。
選択したキーにコードを移調します。もう一度コードを押すと切り替わります
機能をオフにします。この機能は、
Hold ボタン (アルペジエーターを参照)。ノートの優先度は、Vel>Aft で設定できます。
メニュー。

(5)

マスター チューン/MASTER TUNE – UB-Xa の全体的なチューニングを調整できます。
他の楽器と調和していることを確認してください。

コントロールセクション



(6)

ポルタメント/PORTAMENTO – このコントロールはピッチが滑る速度に影響します。音符の間。ポルタメントはポリフォニックなので、各音符が滑らかに動きます。新しいピッチに達するまでレートが異なります。ポルタメントも効くユニゾンモード（下記参照）。コントロールを左いっぱい（CCW）に設定すると、ポルタメント効果はなく、ノートは即座に変化します。設定時完全に右（CW）に動かすと、滑空に可能な限り最大の時間がかかります。ピッチ間。

(7)

ユニゾン/UNISON – UB-Xa をモノフォニックシンセサイザーに変えます。斉唱中モードでは、Shift ボタンを押したまま、Unison ボタンを使用して次のいずれかを選択します。1 ～ 16 ボイス、またはキーごとに 16 ボイス。スプリットモードではユニゾンが選択可能下部キーボードと上部キーボードを独立して使用します。たとえば、次のようにすることができます。下のキーボードを通常どおりに使用してコードを演奏し、上のキーボードを設定します。

キーボードをリードパッチ用にユニゾンにします。

(8)

オシレーター2 ディチューン/OSC2 DETUNE— このコントロールを使用すると、オシレーター 2 のボイスを設定できます。

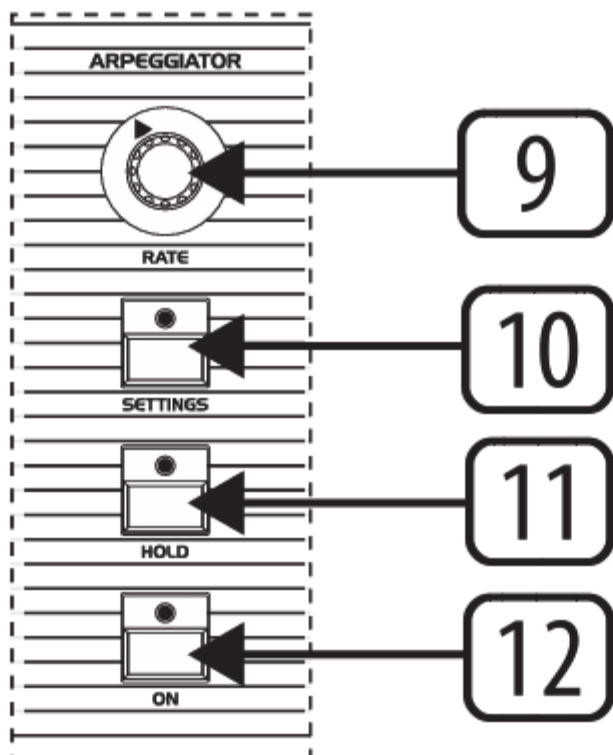
オシレーター 1 に対してわずかにシャープまたはフラットになり、より太いサウンドになります。

特にユニゾンモードでは。コントロールを左 (CCW) に回すとフラットになります

オシレーター 2 を約 50 セント、右 (CW) で同じ量だけシャープにします。

コントロールの上の LED は、オシレーター 2 が離調しているかどうかを示します。いつ LED が点灯していない場合、オシレーターは調整されています。

アルペジエーター (Arp)



(9)

速度/RATE— アルペジエーターと内部シーケンサーのレートを制御します。

(下記を参照) 設定メニューを使用して内部同期が選択されている場合に実行されます。
(以下を参照してください)。レートは 40 ~ 240 bpm の間で調整できます。

(10)

セッティング/SETTINGS- 設定メニューへのアクセスを許可します。選択肢は 5 つありますが、

ロータリーエンコーダー (62) を使用してスクロールできます。

1. アルペジオモード/Arp Mode
2. アルペジオタイム/Arp Time
3. アルペジオのゲートタイム/Arp Gate Time
4. シンク/Sync
5. オクターブ/Octave

ロータリー エンコーダーを押すと、サブメニュー オプションにアクセスできます。

アルペジオモード

a - Up - 押し続けたノートは最低音から最高音へ上向きに再生されます (デフォルト)。

b - Down - 押したままのノートが最高音から最低音へ下向きに再生されます。

c - 包括的 - 保持されているノートは最低音から上向きに再生され、その後下向きに再生されます。

高い順に繰り返します (1 / 2 / 3 / 4 / 4 / 3 / 2 / 1 / 1 など)。

d - 排他的 - 押し続けたノートは最低音から上向きに再生され、その後下向きに再生されません。

繰り返しなしで最高から順に (1 / 2 / 3 / 4 / 3 / 2 / 1 など)。

e - ランダム - 保持されているノートがランダムに再生されます。

f - 順序 - ノートは保持されている順序で再生されます (長押しすると C1 と C4 に C2 を加えると、C1、C4、C2 が得られます)。

g - Up x 2 - ノートは最低音から最高音まで上向きに演奏されます。
2 回再生されます (1 / 1 / 2 / 2 / 3 / 3 / 4 / 4)。

h - Down x 2 - ノートは最高音から最低音へ下向きに再生されます。
それぞれ 2 回再生されます (4 / 4 / 3 / 3 / 2 / 2 / 1 / 1)。

i - Up x 3 - ノートは最低音から最高音まで上向きに演奏されます。
3 回再生されます (1 / 1 / 1 / 2 / 2 / 2 / 3 / 3 / 3 / 4 / 4 / 4)。

j - Down x 3 - ノートは最高音から最低音へ下向きに再生されます。
それぞれ 2 回再生されます (4 / 4 / 4 / 3 / 3 / 3 / 2 / 2 / 2 / 1 / 1 / 1)。

k - Up x2/x3 - ノートは最低音から最高音まで上向きに演奏されます。
偶数拍子の設定で 2 回、3 連符の設定で 3 回演奏されます。
設定。

l - Down x2/x3 - ノートは最高音から最低音へ下向きに再生されます。
それぞれを偶数時間設定で 2 回、3 回再生します
トリプレット設定について。

07=====

アルペジオタイム/Arp Time

a - 1/4 音符

b - 1/8 音符

c - 1/16 音符 (デフォルト)

d - 1/32 音符

e - 1/4 3 連符

f - 1/8 3 連符

g - 1/16 3 連符

アルペジオゲートタイム/Arp Gate Time

0 ~ 99 の間で連続的に調整可能。ゲートはさらに長く開いています

より高い設定（デフォルトは 50）。

同期/ Sync

- a- グローバル - 保持されているノートに新しいノートを追加すると、追加されるだけです次に該当する時間間隔に関する新しいメモ。
- b- リトリガー - 保持されているノートに新しいノートを追加して再開します。最初の音からアルペジオ。

オクターブ/ Octave

1 ~ 6 の間で連続的に調整可能。2 の間の値の場合

6 を選択すると、保持されているノートが 6 まで繰り返されます。

選択したオクターブの数。より高い設定でノートが保持されている場合

UB-Xa の音域を超えると、低いオクターブが再生されます。

シーケンスの終わり（デフォルトは 1）。

いずれかのサブメニューでロータリー エンコーダーを押すと、サブメニューに戻ります。メインオプションメニュー。

(11)

ホールド/HOLD - Hold ボタンを使用すると、アルペジオを再生し続けることができます。

選択したキーを押したままにします。使用するには、

アルペジオを作りたい鍵盤を選び、 ボタンを押します。

アルペジオは、Hold ボタンが切り替わるまで再生され続けます。

オフまたは新しいノートが再生されます。新しいノートはホールドが解除されるまでアルペジエートされます。

ボタンがオフになるか、さらに一連の新しいノートが演奏されます。

アルペジエーターが実行されていないときは、Hold ボタンを押すと無限のアルペジエーターが適用されます。

ラウドネス サステイン コントロール (47) のレベルでサステインし、任意のノートを維持します。

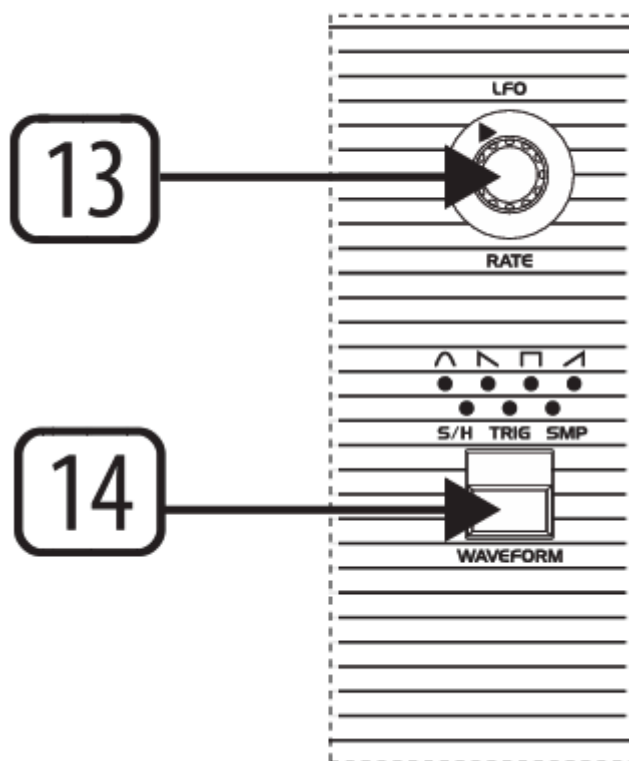
アクティブ化すると再生されます。他のノートはホールドしたノートの上に演奏することができます

ノートであり、ラウドネスエンベロープ設定の影響を受けます。

(12)

ON - アルペジエーターのオンとオフを切り替えます。

低周波発振器 (LFO)



LFO はモジュレーションに使用され、それより大幅に低い周波数で動作します。人間の聴覚。LFO には 2 つのコントロールがあります。

(13)

RATE - LFO が動作する周波数を制御します。最小値のは 0.06 Hz (約 17 秒ごとに 1 サイクル)。そして最大値は 50Hz (1 秒あたり 50 サイクル)。

(14)

波形/WAVEFORM - 6 つの変調波形が利用可能です。

- 正弦 – 滑らかな立ち上がり立ち下りの曲線。
- ノコギリ波 – 滑らかなダウンサイクルの後に急速な上昇を伴う波。
- スクエア – ハイ状態とロー状態が遷移せずに交互に繰り返されます。
- ランプ – ノコギリ波の逆: 滑らかな上昇とそれに続く急速な下降。
- S&H – ホワイト ノイズのサンプルを取得して得られるランダム電圧。

各 LFO サイクルの先頭。

- SMP – 個別の LFO から波形をサンプリングします。

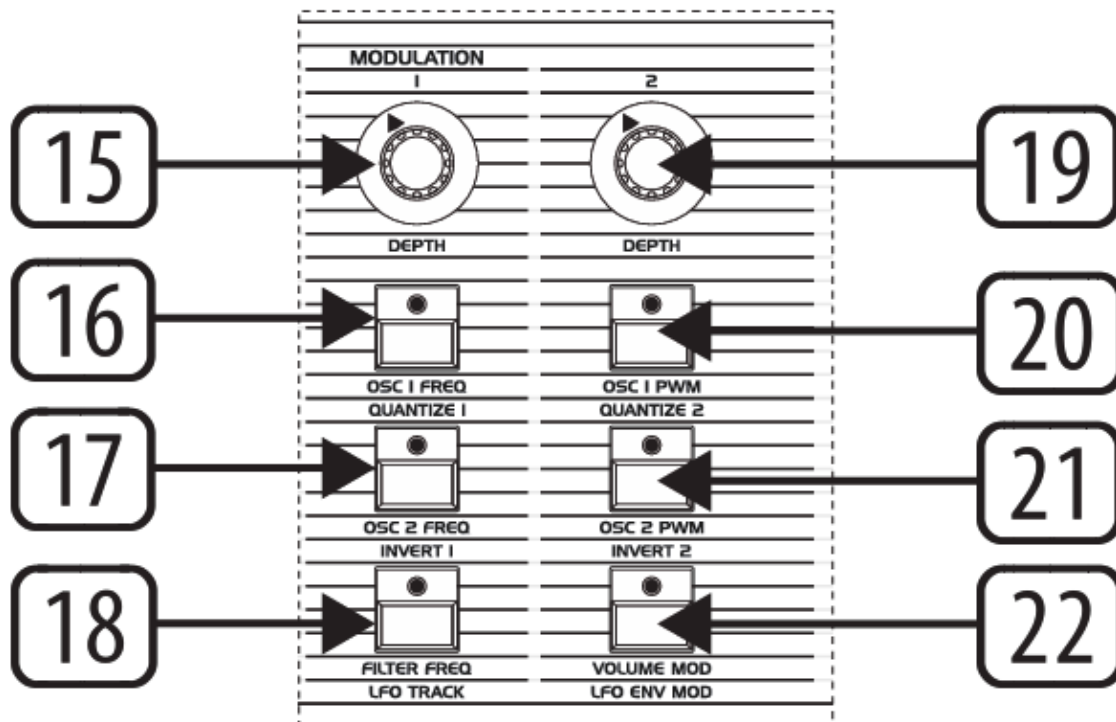
S&H と同様にキーボードの左側にあるパフォーマンスパネル
ホワイトノイズをサンプリングします。

波形ボタンを2秒以上長押しすると、

LFO が再トリガーモードになります (トリガー LED が点灯します)。このモードでは、LFO
が新しい音を開始します。

新しく演奏されるキーごとの波形サイクル。これは以前と変わりません
選択された波形。

モジュレーションセクション/Modulation Section



モジュレーションセクションは、LFO のルーティングを制御して、UB-Xa の他のセクション。

(15)

DEPTH – それぞれに送信される LFO モジュレーションの量を制御します。選択可能な 3 つのソースから選択します。コントロールが左いっぱい (CCW) の場合ルーティングに関係なく、変調はありません - 完全に右 (CW) の場合、LFO の全出力がルーティングされます。

(16)

OSC 1 周波数 – 選択した深さで LFO をオシレーター 1 にルーティングします。ビブラート効果 (周波数変調) を生成します。

(17)

OSC 2 周波数 – 選択した深さで LFO をオシレーター 2 にルーティングします。ビブラート効果 (周波数変調) を生成します。

(18)

FILTER – LFO をフィルターにルーティングします。これによりフィルターが開きます。そして周波数制御を使用してベースセットの上に閉じます。

(19)

パルス幅の深さ/Pulse Width Depth – LFO がパルスの幅を変調できるようにします。量を変えて波形を変化させます (以下の「オシレーター」セクションを参照)。コントロールのとき完全に左 (CCW) にすると、ルーティングに関係なく、変調は行われません - 完全に右 (CW) にすると、LFO の全出力がルーティングされます。

(20)

OSC 1 PWM – LFO をオシレーター1 のパルス幅にルーティングします。

(21)

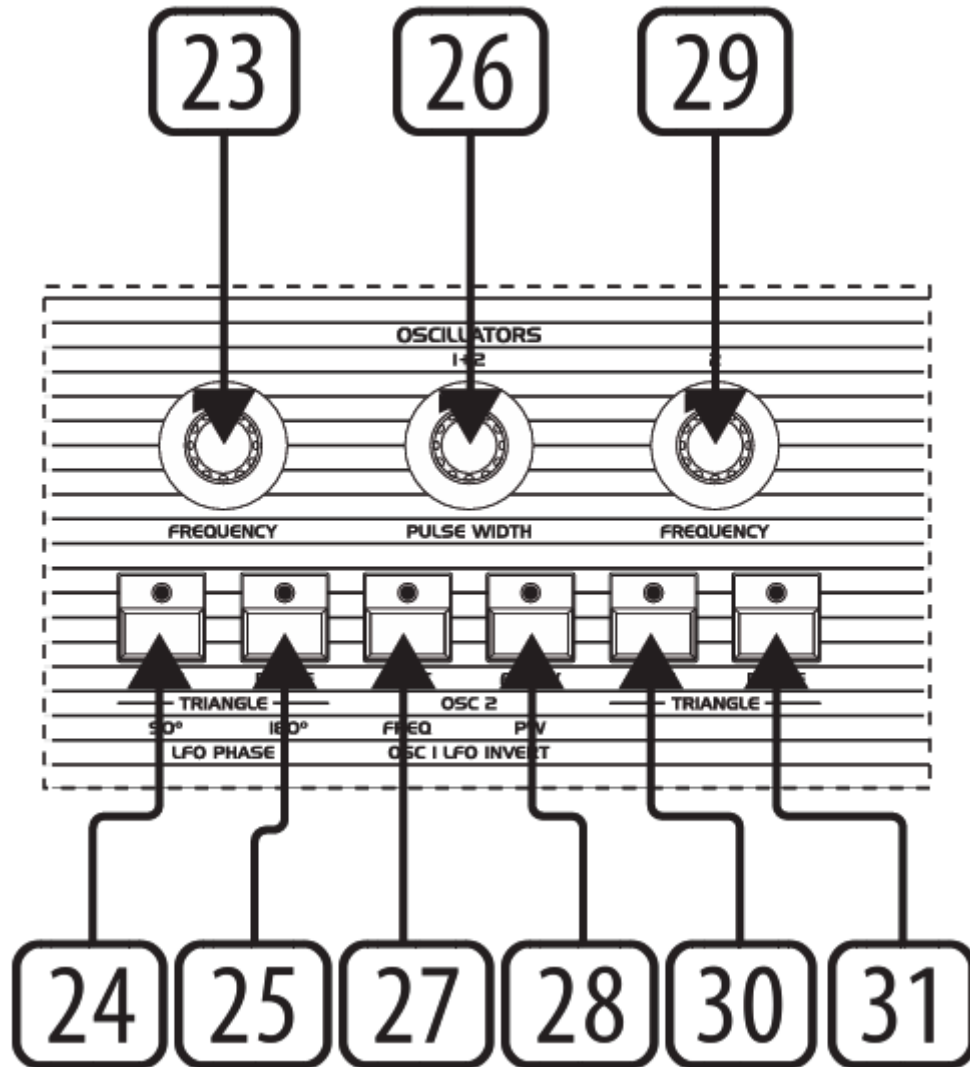
OSC 2 PWM – LFO をオシレーター2 のパルス幅にルーティングします。

(22)

(22)

VOLUME MOD - LFO を電圧制御アンプ (VCA) にルーティングします。
(下記参照) 選択した深さでトレモロ効果を生成します。

オシレーター・セクション



電圧制御発振器 (VCO) は、UB-Xa の基本サウンドを生成します。

(23)

OSC 1 FREQUENCY - オシレーター 1 のベース周波数を 4 段階で制御します。

1 オクターブのステップ。

(24)

SAW – オシレーター 1 のノコギリ波をオンにします (ノコギリ LED がオン)。

(25)

PULSE – オシレーター 1 のパルス波形をオンにします (パルス LED がオン)。

パルス幅変調によってさらに処理できます。

どちらのスイッチもオンにすると (両方の LED がオフ)、三角波形は選択されません。

08=====

(26)

OSC 1+2 PULSE WIDTH – パルスが発生するときのパルスの幅を設定します。

wave は VCO の一方または両方で選択されます。左いっぱい (CCW) に倒すと、

方形波は、アップサイクルとダウンサイクルが等しい場合に生成されます。旋回

コントロールをさらに右 (CW) にすると、アップサイクルの量が減少します。

より薄い効果を生み出します。最大パルス幅を下回るすべてのレベルで

変調すると波形が変化します。

Osc 1 または Osc 2 の Pulse ボタン (25 または 31) を押し続けると、

パルス幅制御 26 は各オシレーターに個別に影響を与えます。

(27)

SYNC – オシレーター 2 の波形を同時にリセットします。

オシレーター 1 の。豊かな倍音を与えますが、時にはグリッチのある効果を与えます。

特に F-env と組み合わせて使用する場合。

(28)

F-ENV – フィルターエンベロープ (下記参照) でピッチを変更できるようにします。

オシレーター 2 の試行に応じて独特のエフェクトを生成します。

オシレーター 1 と同期します。深さはフィルターによって制御されます。

モジュレーションコントロール。

(29)

OSC 2 FREQUENCY – オシレーター 2 のベース周波数を半音単位で設定します。

5 オクターブ以上のステップ。これにより、オシレーター 2 をオフセットできるようになります。

オシレーター1。

(30)

SAW – オシレーター 2 のノコギリ波をオンにします (ノコギリ LED がオン)。

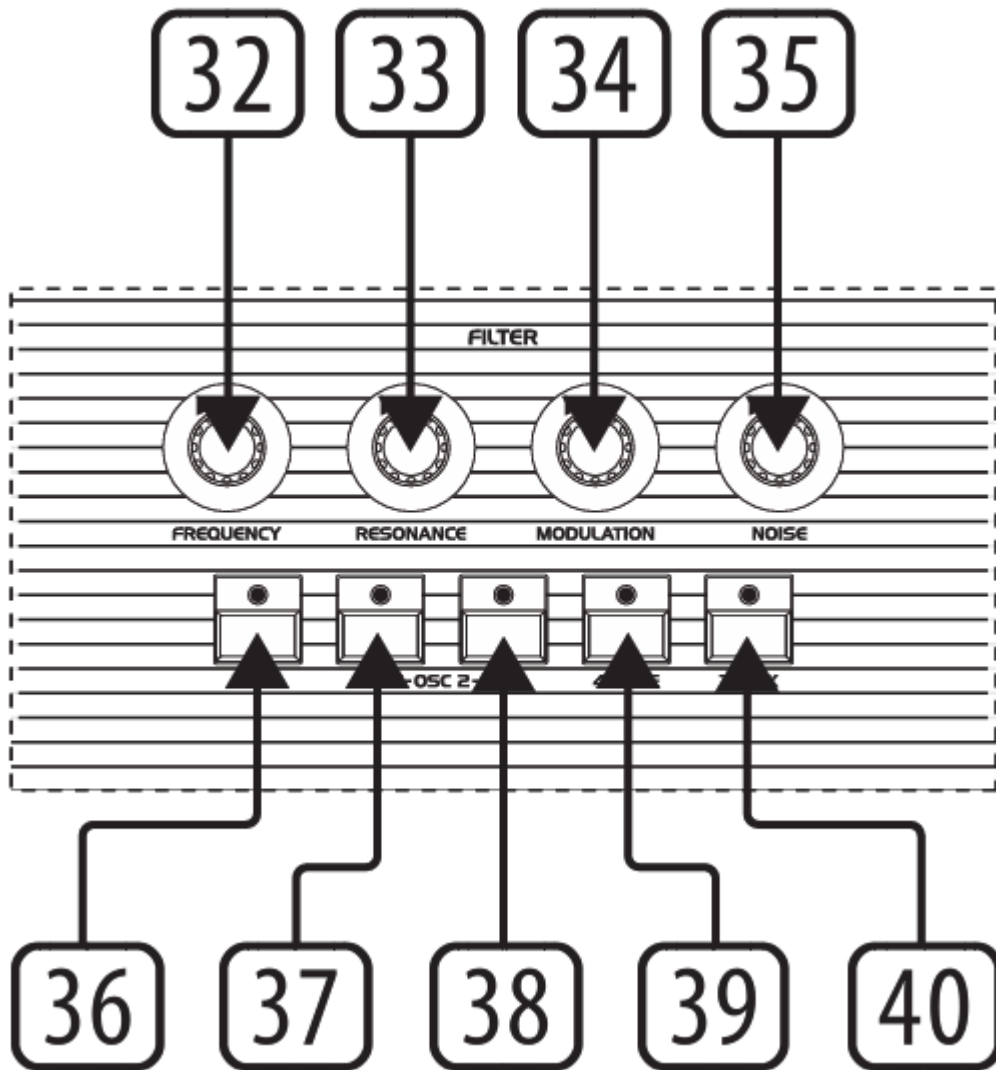
(31)

PULSE – オシレーター 2 のパルス波形をオンにします (パルス LED がオン)。

Switching on neither (both LEDs off) selects Triangle waveform.

どちらのスイッチもオンにすると (両方の LED がオフ)、三角波形が選択されます。

フィルターセクション



フィルターは、UB-Xa が VCO によって生成されたサウンドを整形する方法です。彼らの音色をコントロールします。UB-Xa には、2 つの切り替え可能なローパス フィルター (LPF) があります。より豊かなサウンドを提供する 24 dB/オクターブ 4 ポール フィルターと、12 dB/オクターブ 2 ポール フィルターよりスムーズなサウンドが得られます。

(32)

FREQUENCY – 許可される高周波の量を制御します

フィルターを通して。コントロールを左いっぱい (CCW) にすると音が出なくなります

通過します (変調の影響を受ける - 下記を参照)。周波数コントロールとしては、右 (CW) に回すと、通過する高周波の量が増加します。コントロールが完全に右 (CW) に移動するまでは、フィルタリングはまったく行われません。そしてすべての周波数が聞こえます。

(33)

レゾナンス - 「Q」またはエンファシスとしても知られ、レゾナンスは音の響きを高めます。周波数の位置を中心とした周波数の顕著さコントロール。2 ポール モードでは、パッチ全体の音量が大きくなります。4 極モード時量が減ります。フィルターはどちらのモードでも自己発振します。音声メニューの萎縮設定に応じて異なります。

(34)

(34)

MODULATION - フィルターからのモジュレーションの量を制御します。フィルターに適用されるエンベロープ。このコントロールは量もコントロールします F-Env ボタンがオンのときにオシレーター 2 に適用されるフィルター エンベロープの使用済み。

(35)

ノイズ/NOISE - ノイズ ジェネレーターの出力をフィルターにルーティングできます。コントロールを完全に左 (CCW) にすると、ノイズは聞こえなくなります。旋回コントロールを右 (CW) にすると、聞こえるノイズの量が増加します。コントロールを右いっぱい (CW) にすると、ノイズが最高レベルになります。

(36)

OSC 1 - オシレーター 1 からの信号をフィルターにフルにルーティングできるようにします。音量。

(37)

OSC2 Half - オシレーター 2 からの信号をフィルターにルーティングできます。オシレーター 1 のレベルの約半分 (-6 dB)。

(38)

OSC2 Full - オシレーター 2 からの信号をフィルターにルーティングできます。
オシレーター1 と同じレベルです。

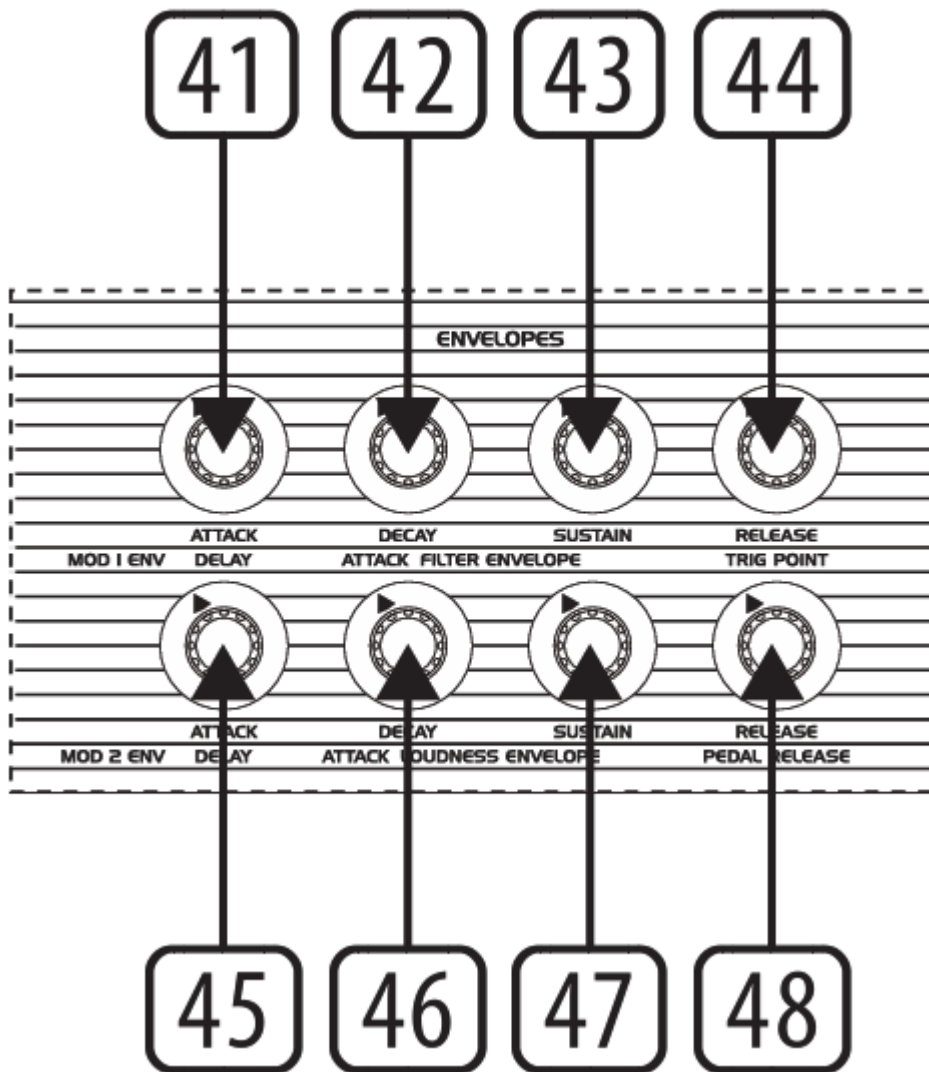
(39)

4 極/4 POLE - このスイッチがオンの場合 (LED が点灯)、フィルターは 4 極で動作します。
上で説明したように、モード。オフの場合は 2 極が使用されます。

(40)

TRACK - このスイッチがオンの場合、キーボードの電圧がキーボードに適用されます。
フィルターを使用すると、特に高音が明るく聞こえるようになります。
周波数コントロールは低く設定されています。

エンベロープセクション



UB-Xa には 2 つのエンベロープ ジェネレーターがあり、フィルターのパッチを可能にします。

輪郭を描く電圧制御アンプの振幅。両方

エンベロープ ジェネレーターには 4 段階のコンタリング機能があります。

フィルターエンベロープ

フィルター エンベロープは、使用時のフィルターの輪郭を制御します。その効果は、周波数コントロールを低く設定すると、より顕著になります。コントロールは 4 つあります このエンベロープ ジェネレーターに関連付けられているもの:

(41)

ATTACK – エンベロープジェネレーターレベルの上昇するまでの時間を制御します。ゼロから最大まで。UB-Xa のアタックは 7ms から 7ms の間で調整可能です。13 秒。

(42)

DECAY – エンベロープジェネレーターレベルの低下にかかる時間を制御します。最大値からサステイン・コントロール（以下を参照）で設定されたレベルまで、攻撃ステージが終了し、キーが保持されている場合。時間
最小 9ms から最大 16.5 秒の間で調整可能です。

(43)

SUSTAIN – ディケイ後にフィルターが保持されるレベルを制御します。サイクルが完了し、キーがまだ保持されている場合。そこにはサステインに時間制限はありません。サステイン設定を高くすると、(50% 以上) は、Decay ステージの効果がほとんど、またはまったくなくなります。

(44)

RELEASE – エンベロープジェネレーターレベルの低下速度を制御します。キーを放すとゼロになります。Sustain が に設定されている場合は、少なくとも、キーが押されている場合、リリース コントロールは効果がありません。しかしアタックまたはディケイ中にキーが放された場合でも、リリースは依然として影響を及ぼします。フィルター。リリースタイムは最小 50ms から最大 50ms の間で調整できます。最大 20 秒。

フィルターエンベロープは、OSC2 がオンになっているときのオシレーター 2 のピッチにも影響します。

F-Env スイッチがアクティブになっています。

ラウドネスエンベロープ

ラウドネス エンベロープは、UB-Xa の出力レベルを制御します（

ボリュームコントロールの位置)。フィルター エンベロープと同様に、4 つのコントロールがあります。

(45)

ATTACK – エンベロープジェネレーターのレベルが上昇するまでの時間を制御します。ゼロから最大まで。アタックが短いほど、パッチはよりパンチになります。UB-Xa のアタックは 7 ミリ秒から 13 秒の間で調整できます。

(46)

DECAY – エンベロープジェネレーターのレベルが下がるまでにかかる時間を制御します。最大値から Sustain コントロール（下記参照）で設定されたレベルまで 1 回攻撃ステージは終了しており、キーが保持されている場合に限りです。として Attack の場合、ディケイが短くなるほど、パッチはよりパンチになります。時間は最小 9 ミリ秒から最大 16.5 秒の間で調整可能です。

(47)

SUSTAIN – ディケイ後に VCA が保持されるレベルを制御します。サイクルが完了し、キーがまだ保持されている場合。そこにはサステインに時間制限はありません。サステイン設定を高くすると、(50% 以上) は、Decay ステージの効果がほとんど、またはまったくなくなります。

09=====

(48)

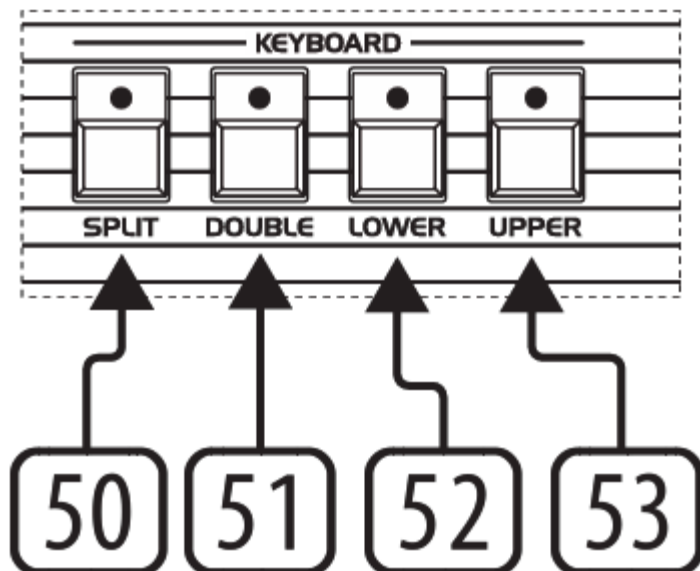
RELEASE – エンベロープジェネレーターのレベルが下がる速度を制御します。キーを放すとゼロになります。Sustain が に設定されている場合は、少なくとも、キーが押されている場合、リリース コントロールは効果がありません。しかしアタックまたはディケイ中にキーが放された場合でも、リリースは依然として影響を及ぼします。VCA。リリースタイムは最小 50ms から最大 50ms の間で調整できます。最大 20 秒。

その他のコントロール



SHIFT - UB-Xa の追加機能へのアクセスを許可します。短く押すシフト機能をオンにラッチします。ボタンを押し続けるとシフトにアクセスできますボタンを放すまで機能します。

キーボードセクション



SPLIT – UB-Xa のキーボードを任意の位置で分割できます。

下鍵盤と上鍵盤で異なるパッチを演奏できるようになります。

スプリット機能を使用するには、スプリット ボタンを押してスプリット モードに入り、スプリットボタンを押したまま、希望のキーを押します。

上の鍵盤の最低音になります。

キーボードのキーを押さずにもう一度 Split キーを押す
分割モードを終了します。

スプリットモードでは、UB-Xa の同時発音数が半分になることに注意してください。

各キーボード。したがって、最大 8 つまでしかプレイできません

どちらかを同時にメモします。スプリット モードでは、UB-Xa を

外部ソースから 2 つの MIDI チャンネルで同時にコントロールできます。

保存したスプリット プログラムを呼び出すには、スプリット モードに入り、ロータリー ボタンを使用します。

エンコーダ (62) を使用して、保存されたプログラムをスクロールします。プログラムは自動的にロードされるため、それ以上の操作は必要ありません。

スプリット・プログラムは 35 個まで保存可能です。

(51)

DOUBLE – UB-Xa が 2 つのパッチを同時に再生できるようにします。

独自のキーボードを使用するか、2 つの受信 MIDI チャンネルを使用します。

保存した Double プログラムを呼び出すには、Double モードに入り、

ロータリーエンコーダ (62) を使用して、保存されたプログラムをスクロールします。プログラムは

自動的にロードされるため、それ以上の操作は必要ありません。

ダブルプログラムは 35 個まで保存可能。

(52)

LOWER – 音の下部に使用するパッチを選択できます。

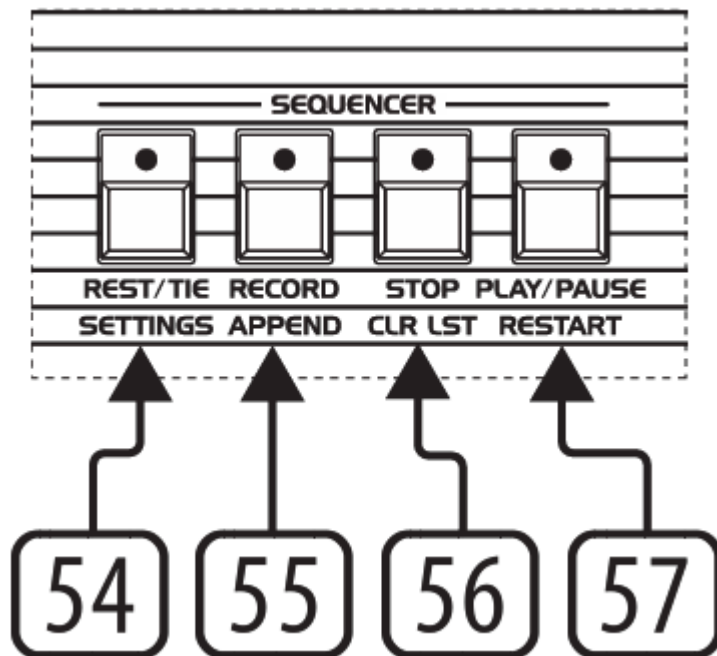
キーボードは分割モード。またはダブルモードでパッチを左にバランスさせます。

(53)

UPPER- アッパー部分に使用するパッチを選択できます。

キーボードは分割モード。またはダブルモードでパッチを右にバランスさせます。

シーケンサーセクション



UB-Xa は各パッチに 64 ステップのポリフォニック シーケンスを保存します。シーケンサー アルベジェーターのレートコントロールを共有します。に関連付けられた 4 つのコントロールがあります。

シーケンサー。Shift ボタンを使用すると追加機能もあります。

シーケンスの記録を開始するには、記録ボタン (55) を押します。これによりステップがリセットされます

最初のステップまで数えます。録音ボタンの LED が点滅し始めます。Any notes or chords that you play will be recorded into the sequence, and the

演奏したノートやコードはシーケンスに記録され、

位置マーカーが 1 つ進みます。+/- ボタンを使用して移動できます。

記録された手順に従ってください。手順はディスプレイに表示されます。

録音が終了したら、もう一度録音ボタンを押すか、停止を押します。
(56)。

シーケンスを再生するには、Play (57) を押します。もう一度「再生」を押すと一時停止します。ボタンの LED が点滅します。さらに押すと、次から再生を再開します。一時停止ポイント。

シーケンスを保存するには、Write ボタンを押してからロータリーエンコーダー (Enter) を押します。
書き込み手順を完了します。シーケンスを含めたパッチが書き込まれます。

シーケンスのプログラミング中にエラーが発生した場合、Clr Last (Shift および Stop) ボタンを使用して、最後のノートを消去できます。

別のパッチから現在のパッチにシーケンスをロードするには、Record を押してからロータリーエンコーダーを使用して、シーケンスを使用するパッチを選択します。使用 Shift キーと Select キーを押してバンクを変更します。

シーケンスの再生中にキーボードのいずれかのキーを押すと、即座にシーケンスをトランスポーズします。

(54)

REST/TIE – 音符またはコードを押しながらこのボタンを押すと伸びます。シーケンスの複数のステップにまたがる音符を（結び付けます）。それを押すと音符を保持しないと、シーケンス内のその時点で休符が挿入されます。

(55)

RECORD – 前述のように、シーケンサーを録音モードにします。

(56)

STOP – シーケンスの実行中に停止ボタンを押すとシーケンスが停止します。シーケンスを開始し、最初の位置にリセットします。

(57)

PLAY/PAUSE – シーケンスが実行されていない場合は、このボタンを押します
始めます。さらに押すとシーケンスが一時停止しますが、
停止ボタンは最初の位置にリセットされません。ボタンを 3 回押すと
一時停止した時点からシーケンスを再開します。

Shift ボタンと 4 つのシーケンサー ボタンを併用すると、追加の機能が追加されます。
機能：

UB-Xa が他のデバイスの同期マスターとして機能している場合に注意してください。
MIDI 機器の場合は、再生/一時停止または停止ボタンを短く押すだけです。
UB-Xa 独自のシーケンサーを有効または無効にします。外部を制御するには
機器の場合も、2 回押しまたは長押しを使用します。

Shift & 54 – 設定 – シーケンサー設定メニューにアクセスします。
ロータリーエンコーダーを使用してスクロール (62)

1. シーケンスタイム

a - 1/4 音符

b - 1/8 音符

c - 1/16 音符

d - 1/32 音符

e - 1/4 音符 3 連符

f - 1/8 3 連音符

g - 1/16 3 連音符

2. シーケンスゲート時間

0 ~ 99 の間で連続的に調整できます。設定を高くすると、
ゲートの開きが長くなります。デフォルトは 50 です。

10=====

3. 同期

a - グローバル - シーケンスに新しいノートを追加すると、新しいノートのみが追加されます。

次に適用される時間間隔に注意してください。

b - リトリガー - 保持されているノートに新しいノートを追加して再開します。
最初の音からのシーケンス。

Shift & 55 - Append - 再生ヘッドをシーケンスの最後に設定します。

で許可される最大まで追加のステップを追加できます。

キーボードの設定。

Shift & 56 - Clr Lst - Clear Last を使用すると、ステップをステップから消去できます。

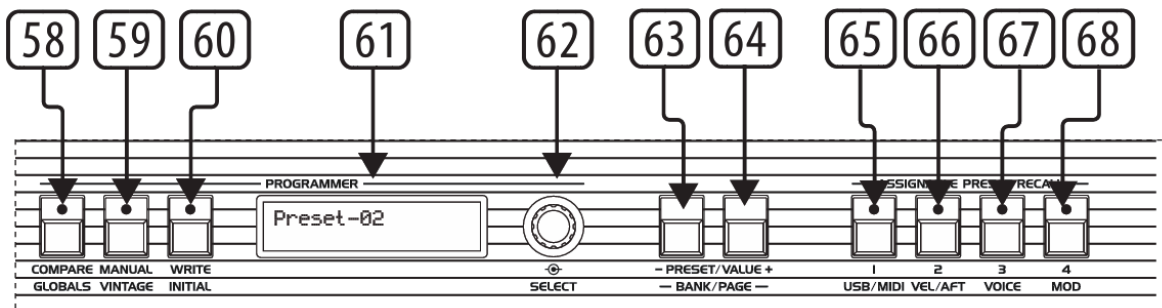
記録された最後のステップから始まるシーケンス。クリア長押し

最後はシーケンス全体を消去します。

Shift & 57 - 再開 - シーケンスの実行中に Shift と 57 を押します。

最初のステップからやり直します。

プログラマーセクション



プログラマーセクションでは、保存されたパッチを呼び出し、編集、比較できます。

オリジナルに書き直した/書き直したもの。

(58)

COMPARE - パッチを編集するとき、編集したパッチを比較すると便利ながよくあります。

オリジナルのバージョン。表示編集に「比較」を選択した場合

現在のコントロールの保存された値と編集された値が表示されます。

を使用しています。矢印で上にいるか下にいるかを示します。
保存された値。

(59)

MANUAL – すべてのコントロールの現在の状態をプログラミングに組み込みます。
バッファにより、現在のコントロールから新しいパッチを作成できるようになります。
ポジション。パッチ名は「プリセット」にリセットされます。

(60)

WRITE – 新しいパッチと編集したパッチを保存できます。「書き込み」を押します
ボタンをクリックし、+/- を使用して書き込みたいメモリスロットを選択します。
に。ロータリーエンコーダーを押して確定します。パッチに名前を付けるには、
エンコーダを使用して、使用可能な文字と数字、値をスクロールします。
+/- ボタンは名前内を移動します。もう一度エンコーダーを押すと保存されます
パッチが付いた名前。最大 16 文字まで使用できます。パッチ
名前を変更した後は書き直す必要があります。そうしないと、新しい
名前は保存されません。

スプリットまたはダブル プログラムを保存するには、スプリットまたはダブル モードに入り
ます。押し続ける
[書き込み] ボタンを押し、+/- を使用して利用可能なメモリをスクロールします。
(これらには 1 ~ 9 の数字と A ~ Z の文字が割り当てられます)。Enter キーを押して、
目的の場所に到達したら保存します。ロータリーを回すと
エンコーダを使用すると、書き込み操作をキャンセルできます。

(61)

表示 – 32 文字の表示。通常、これには名前が表示され、
現在のパッチの場所。

- ロータリーコントロールの位置が変更されると、ディスプレイに一時的に
そのコントロールの新しい値。
- シーケンスをプログラムするとき、ディスプレイにはどのシーケンスがプログラムされてい
るかが表示されます。
プログラムされている、シーケンスに含まれるステップの数、および内容
現在のステップは です。

- ・設定メニューのいずれかを使用すると、ディスプレイにメニューが表示されます。
オプション。

(62)

SELECT – メモリ位置の選択に使用されるロータリーエンコーダー。プレス中エンコーダは Enter ボタンとして機能し、完了または完了のオプションを備えています。確認する。

(63)

プリセット/値 (-) – 押すたびに値が 1 単位ずつ減少します。

(64)

プリセット/値 (+) – 押すたびに値が 1 単位ずつ増加します。

65、66、67、68 - 割り当て可能なプリセットリコール

UB-Xa には 4 つのボタンがあり、最大 15 個のボタンを呼び出すことができます。スプリットパッチやダブルパッチなど、お気に入り/最もよく使用されるパッチ。のボタンは次のいずれかの組み合わせで使用できます。

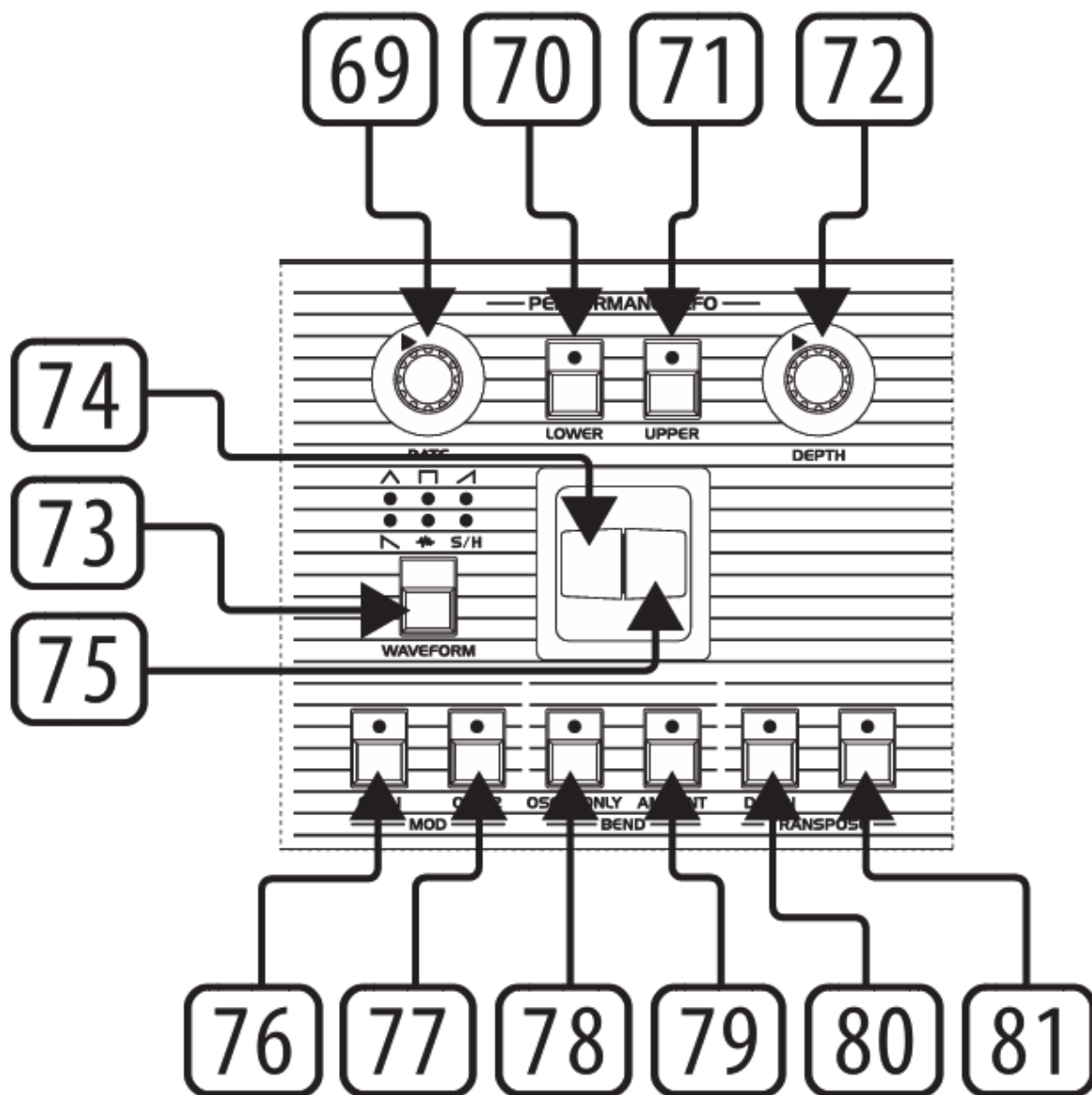
1 / 2 / 3 / 4 / 12 / 13 / 14 / 23 / 24 / 34 / 123 / 124 / 134 / 234 / 1234

ボタンの組み合わせにパッチを割り当てるには、まず説明に従ってパッチを呼び出します。はじめに。希望のボタンの組み合わせを長押しします
使用。「書き込み」ボタンを押します。

パッチを特定のボタンの組み合わせに割り当てると、
その組み合わせを押すとすぐに呼び出されます。

パッチはシングル、ダブル、または分割にすることができます。そしてグローバルです。

パフォーマンスセクション



演奏セクションはキーボードの左側にあります。含まれています
 上で説明したメインの LFO とは別の LFO。注意すべきことは、
 モジュレーションパネルのコントロールはパッチには保存されませんが、スプリットまたはパ
 ッチに保存されます。
 ダブルプログラム。

(69)

RATE - LFO のサイクル速度を制御します。0.06Hz から調整可能
 (約 17 秒) コントロールを左 (CCW) にいっぱいになると、

コントロールが右いっぱい (CW) の場合は 50Hz。

(70)

(70)

LOWER – このボタンを押すと、LFO モジュレーションとピッチベンドがかかります。スプリットまたはダブル モードの場合、ロワー キーボードに適用されます。

(71)

UPPER – このボタンを押すと、LFO モジュレーションとピッチベンドが動作します。スプリットまたはダブル モードの場合、アッパー キーボードに適用されます。

両方のボタンを押すと、同じ量の LFO モジュレーションがかかります。ロワーキーボードとアッパーキーボードの両方に適用されます。これらのコントロールは機能しません
これらのモードの外では。

(72)

DEPTH – 適用される連続モジュレーションの量を制御します。設定を低くすると(コントロールを左に)、より微妙なモジュレーションが生成されます。一方、コントロールを
右 (CW)。このコントロールのレベルはモジュレーションと合計されます。
レバー (75) とビブラート フットペダル (使用時)。

(73)

WAVEFORM – パフォーマンスセクションに使用する波形を選択します
変調。利用可能な波形は 6 つあります。

- トライアングル
- 矩形
- ランプ
- 鋸歯状
- ノイズ
- サンプル & ホールド

ピッチベンド レバー – このコントロールは、再生されているノートのピッチをベンドします。適用されているとき。レバーをケース前方に引くとピッチを上曲げます。UB-Xa 本体に向かって押すと曲がる（これは変更できます - 以下の「グローバル」メニューを参照してください）。最大曲がり、以下に説明する金額ボタン (79) によって制御されます。レバーはスプリング式ロードされ、放すと中央に戻ります。

11=====

(75)

モジュレーション レバー – モジュレーション レバーはバネ仕掛けで戻ります。放すと中央に移動します。レバーを上を押すと量が増えます。モジュレーションが適用されました。これは、適用されているモジュレーションに加算されます。
Depth コントロールやフットペダルで操作します。下向きの動作とレバーの上向きの動きはモジュレーションとして個別に使用することもできます。マトリックスソース。

(76)

OSC1 – デプス、レバー、およびデプスの設定に従って、LFO モジュレーションを適用します。フットペダルからオシレーター1へ。

(77)

OSC 2 – デプス、レバー、およびデプスの設定に従って、LFO モジュレーションを適用します。フットペダルからオシレーター2へ

両方のボタンを押すと、同じ量のモジュレーションが適用されます。両方のオシレーターに。これらのコントロールは、オートチューニング中は無効になります。チューニングの精度を確保します。

(78)

OSC 2 ONLY – ピッチベンドをオシレーター 2 にのみ適用します。「オシレーター」で説明されている Sync および F-Env コントロールと組み合わせて使用し

ます。

セクションでは、非常に表現力豊かな音色エフェクトを作成できます。コントロールがアクティブでないピッチベンドは両方のオシレーターに均等に適用されます。

(79)

AMOUNT – このコントロールはピッチベンドレバーの範囲を設定します。いつ適用されていません (LED オフ) レバーはピッチを上下に曲げます。

最大 1 つの全音符 (EG 'C' から 'D' まで、または 'Bb' まで)。そうなったとき適用すると (LED が点灯)、レバーは選択した範囲で上下に曲がります。

ベンド範囲を選択するには、量ボタンを押したまま、ボタン上のいずれかのキーを押します。キーボードを押してボタンを放します。電源投入時のデフォルトは 1 オクターブです。

(80)

TRANSDPOSE DOWN – キーボードの音域を 1 つ下にシフトします

最初に押すと 1 オクターブ (LED が点灯)、2 回目に押すと 2 オクターブ (LED が点灯) 点滅)。これは、Transpose Up (81) を使用するか、両方を押すことで逆転できます。ボタンも一緒に。

(81)

TRANSDPOSE UP – 最初にキーボードの音域を 1 オクターブ上にシフトしますを押す (LED 点灯) か、2 オクターブ押して (LED 点滅)。これ

Transpose Down (80) を使用するか、両方のボタンを押すと逆にできます。

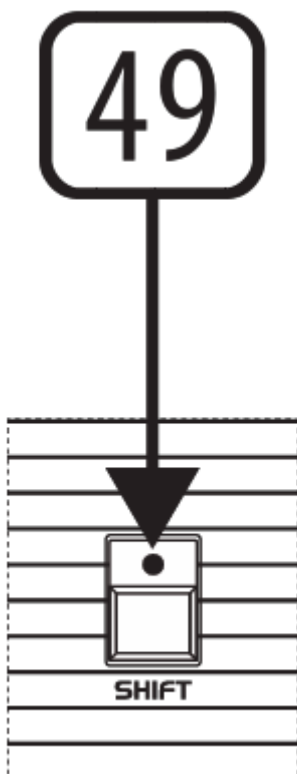
80 と 81 の LED が点灯していない場合、キーボードは通常の範囲内にあります。

Shift ボタン (49) がアクティブな場合、移調は半音単位で行われます。

ステップ。トランスポーズは、UB-Xa がコントロールされているときにも行われます。

外部 MIDI ソース

シフト機能



UB-Xa のコントロールの多くは、ロータリーとボタンの両方に 2 番目の機能があります。大部分は白色の主要な凡例の下に灰色の文字で示されています。これらは以下に説明しますが、シーケンサーに関連するものは除きます。シーケンサーのセクションで説明します。

Shift & 6 (Portamento Control) – Porta Glide – Porta Glide が切り替えられている場合ベロシティとアフタータッチメニューでオンにしてから、Shift キーを押しながら、ポルタメントコントロールはグライドレートを-32 から+31 まで調整します。

Shift & 7 (ユニゾン) – ポリモード – ポリ (デフォルト) を切り替えます。
1 から 8 ボイスまで選択可能 (デフォルトは 2) とユニゾン
1 ボイスと 16 ボイスが選択可能です (デフォルトは 1)。

Shift & 8 (Osc 2 Detune) – Voice Detune – 個々のボイスを調整できます。
0 ~ 25 の間の不感帯を持ち、互いに上方向のみに離調されています。
最大設定値は 255 です。この機能は特にユニゾンモードで効果を発揮します。

Shift & 13 (LFO Rate) – LFO Sync – Shift ボタンを押しながら、

LFO レート コントロールは、シーケンサーが使用しているクロックに LFO を同期します。そしてアルペジエーター。オプションは次のとおりです。

- 4Bar
- 2Bar
- 1Bar
- 1/2 ノート
- 1/4 ノート
- 付点 1/4 音符
- 1/4te トリプレット
- 1/8 ノート
- 付点 1/8 音符
- 1/8 音符 3 連符
- 1/16 ノート
- 付点 1/16 音符
- 1/16 3 連音符
- 1/32 ノート
- 付点 1/32 音符
- 1/32 3 連音符

シフトせずにレート コントロールを動かすと、LFO がフリー ランニングに戻ります

Shift & 16 – クオンタイズ 1 – に適用されると LFO 波形をクオンタイズします。最初の変調チャンネル (周波数)。

Shift & 20 – クオンタイズ 2 – に適用されると LFO 波形をクオンタイズします。2 番目の変調チャンネル (パルス幅)。

Shift & 17 – Invert 1 – モジュレーションチャンネル 1 のモジュレーションエンベロープを反転します。

Shift & 21 – Invert 2 – モジュレーションチャンネル 2 のモジュレーションエンベロープを反転します。

Shift & 18 – LFOトラック – LFO の速度を増減します。

最も最近押されたキーに関連して実行されます – ノートが高ければ高いほど、LFO の実行が速くなります。この機能はレート制御を無効にしません、機能します。それと併せて。

Shift & 22 – LFO Env Mod – フィルターエンベロープで LFO を変調できるようにします
深さ。

Shift & 24 – LFO Phase 90° - LFO の位相をその位相から 90° に変更します。
通常の段階。

Shift & 25 – LFO Phase 180° - LFO の位相をその位相から 180° に変更します。
通常の段階。

Shift キーとボタン 24 および 25 を押すと、LFO の位相が 270° から 270° に変化します。
その正常な段階。

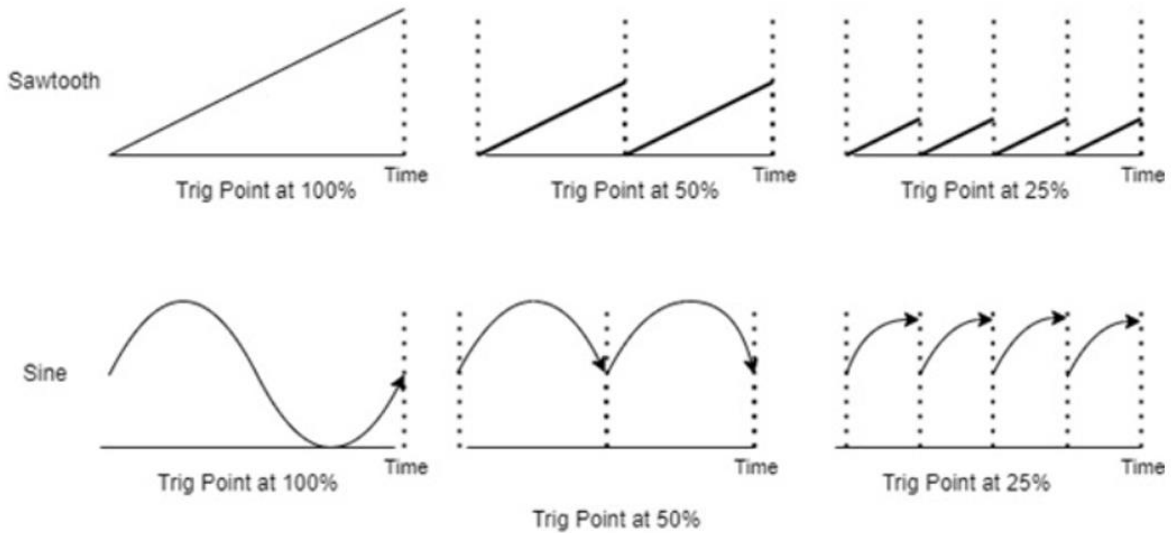
Shift & 27 – OSC1 LFO Invert Freq – LFO 周波数モジュレーションを反転します。
オシレーター1のみ。

Shift & 28 – OSC1 LFO Invert PW – LFO パルス幅変調を反転して
オシレーター1のみ。

Shift & 41 – Mod 1 Delay – 周波数変調の導入を遅らせます。
変調チャンネル 1。

Shift & 42 – Mod 1 Attack – アタックエンベロープを深度に適用します。
変調を変調チャンネル 1 にします。

Shift & 44 – LFO トリガー ポイント – LFO のトリガー ポイントを制御します。
以下に示すように、トリガーなしから全波形サイクルまでの波形。



Shift & 45 – Mod 2 Delay – パルス幅変調の導入を遅らせます
変調チャンネル 2 に。

Shift & 46 – Mod 2 Attack – アタックエンベロープを深度に適用します。
変調を変調チャンネル 2 にします。

Shift & 48 – ペダルリリース – 「サステイン」フットペダルと組み合わせて使用します
入力 (90) では、ラウドネスで選択したものと異なるリリース時間を許可します。
スイッチで選択するエンベロープ。

Shift & 58 – グローバル – グローバル設定メニューにアクセスします。オプションとしては、
ロータリーエンコーダ (62) でスクロールし、Enter キーを押してアクセスします。

その他

1. 菱縮ロック – 菱縮パラメータの編集をロックし、防止します。
偶然の編集。オプションは読み取り専用 (デフォルト) または詳細編集です。
2. コントラスト – ディスプレイ (61) のコントラストを 0 ~ 32 の範囲で調整します。

3. Backgrnd Cal – バックグラウンド キャリブレーションを有効、無効、または自動のみ。UB-Xa は自動ボタン (3) がオンになっている間のみキャリブレーションを行います。押されました。

4. ノブデッドゾーン – アτροφイーでのコントロールの反応方法を変更します。

a – Purism – 9 時から 3 時の範囲で動作を制御します。

b – 拡張 (デフォルト) – 移動範囲全体にわたって動作を制御します。

5. 無効にする – 次の機能を無効にできます。

a – プリセットの割り当て – プリセットの割り当てリコール ボタンの使用を無効にします。組み合わせ。

b – LED Segues – 設定間の LED セグエを無効にします。

c – Pulse Revert – オシレーターが発生する元のバグを無効にします。電源を切るとパルス波形に戻ります。

6. レバー – ピッチベンド レバー (左レバー) (74) とモジュレーションレバー (右レバー) (75)。+/- ボタンを使用して切り替えます。通常と反転。

ピッチベンドが反転 ([X] で表示) されている状態でレバーを押します。

UB-Xa のボディに近づくとピッチが上ではなく下に曲がります。

逆に。

変調が反転されると ([X] で示されます)、変調は次の時点で開始されます。

レバーを下に押すと減少します。

レバーを交換することもできるので、ピッチベンドが変調とその逆。

7. ファン – ファンを有効 (デフォルト)、温度制御、または無効。

ペダルの設定

1. Sustain Assign – サステインペダルのフットスイッチ入力を許可します（バックパネル 90 以下）再割り当てされます。オプションは次のとおりです。

a – Patch Up – 現在選択されているバンク内のパッチをステップアップします。
パッチ 128 の後はパッチ 1 に戻ります。

b – パッチダウン – 現在選択されているパッチを順番に下げます。
バンク。パッチ 1 の後はパッチ 128 に戻ります。

c – プログラムアップ – 保存されたスプリットまたはダブルプログラムをステップアップします。
スプリットまたはダブルモードの場合。

d – プログラムダウン – 保存されたスプリットまたはダブルをステップダウンします。
スプリットまたはダブルモードのときのプログラム。

e – サステイン（デフォルト） – コントロール 48 で設定されたりリースタイムを切り替えます。
および Shift & Control 48 で設定されたペダルリリース時間。

f – ホールド – トップパネルのホールドボタン（11）の動作を複製します。

g – ソステヌート – 鍵盤の音を押しながらペダルを踏むこと
Shift & Control 48 によって設定されたペダル リリース タイムが有効になります。
ペダルを放すと、コントロール 48 で設定したりリース タイムに戻ります。

2. サステインアクション – を押すとネガティブ（デフォルト）に切り替わります。
フットスイッチにより、選択されたアクションが実行されます。ポジティブな場合、
選択したアクションは、フットスイッチが押されて無効になるまで実行されます。

3. サステイン ラッチ – アンラッチ（デフォルト）とリリースの間で切り替えます。
フットスイッチを押すと、選択したアクションが停止します。そしてラッチされた場所

選択したアクションは、フットスイッチが再度押されるまで継続します。

4. プログラム割り当て - プログラムアドバンスフットスイッチ入力を許可します（戻る以下のパネル 91）が再割り当てされます。オプションは次のとおりです。

a- パッチアップ（デフォルト）- 現在のパッチをステップアップします。
選択したバンク。パッチ 128 の後はパッチ 1 に戻ります。

b- パッチダウン - 現在選択されているパッチを順番に下げます。
バンク。パッチ 1 の後はパッチ 128 に戻ります。

c- プログラムアップ - 保存されているスプリットまたはダブルプログラムをステップアップします。
スプリットまたはダブルモードで。

d- プログラムダウン - 保存されたスプリットまたはダブルをステップダウンします。
スプリットまたはダブル モードのときのプログラム。

e- サステイン - コントロール 48 で設定したリリース タイムと、
ペダルリリース時間は Shift & Control 48 で設定します。

f- ホールド - トップパネルのホールドボタン（11）の動作を複製します。

g- ソステヌート - 鍵盤の音を押しながらペダルを踏むこと
Shift & Control 48 によって設定されたペダル リリース タイムが有効になります。
ペダルを放すと、コントロール 48 で設定したリリース タイムに戻ります。

5. プログラムアクション - を押すと負（デフォルト）に切り替わります。
フットスイッチにより、選択されたアクションが実行されます。ポジティブな場合、
選択したアクションは、フットスイッチが押されて無効になるまで実行されます。

6. プログラム ラッチ - を押すとアンラッチ（デフォルト）に切り替わります。
フットスイッチを押すと、選択したアクションが実行され、ラッチされます。
選択したアクションは、フットスイッチが再度押されるまで継続します。

7. Hold Assign - ホールド ペダル フットスイッチ入力を許可します (以下のバック パネル 92)。

再割り当てされることとなります。オプションは次のとおりです。

a- Patch Up - 現在選択されているバンク内のパッチをステップアップします。
パッチ 128 の後はパッチ 1 に戻ります。

b- パッチダウン - 現在選択されているパッチを順番に下げます。
バンク。パッチ 1 の後はパッチ 128 に戻ります。

c- プログラムアップ - 保存されているスプリットまたはダブルプログラムをステップアップします。
スプリットまたはダブルモードで。

d- プログラムダウン - 保存されたスプリットまたはダブルをステップダウンします。
スプリットまたはダブル モードのときのプログラム。

e- サステイン - コントロール 48 で設定したリリース タイムと、
ペダルリリース時間は Shift & Control 48 で設定します。

f- ホールド (デフォルト) - 上部のホールド ボタン (11) の動作を複製します。
パネル。

13=====

g- ソステヌート - 鍵盤の音を押しながらペダルを踏むこと
Shift & Control 48 によって設定されたペダル リリース タイムが有効になります。
ペダルを放すと、コントロール 48 で設定したリリース タイムに戻ります。

8. ホールドアクション - を押すとマイナス (デフォルト) に切り替わります。
フットスイッチを押すと、選択したアクションが実行されます。ポジティブな場合、
選択したアクションは、フットスイッチが押されて無効になるまで実行されます。

9. Hold Latch - アンラッチ（デフォルト）とリリースの間で切り替えます。フットスイッチを押すと、選択したアクションが停止し、ラッチされます。選択したアクションは、フットスイッチが再度押されるまで続きます。

10. ビブラート割り当て - ビブラートフットペダル入力を可能にします（以下のバックパネル 88）

再割り当てされることとなります。オプションは次のとおりです。

a- フィルター - フットペダルはフィルターのカットオフ周波数を範囲で制御します。

コントロール 32 によって設定された現在のフィルター周波数設定とフィルターの間全開になっている状態。

b- ビブラート（デフォルト）- フットペダルでビブラートの量を制御します。

パフォーマンスセクションは、選択されている宛先に LFO されます。

ボタン 76 と 77 を使用します。モジュレーション レバー 74 は引き続きアクティブになります。

c- アタック - フットペダルでラウドネスを変更します。アタックタイムをオーバーライドします。

コントロール 45 から最大 14 秒まで。

d- リリース - フットペダルによりラウドネスが変更され、リリース時間がオーバーライドされます。

コントロール 48、最大 20 秒まで

e- ディケイ - フットペダルでラウドネスを変更します。ディケイタイムをオーバーライドします。

コントロール 46、最大 10 秒まで。

f- 一般 1 CC16 - フットペダルは連続コントローラー #16 に影響します。

これはモジュレーションマトリックスを通じて割り当てることができます。

g- 一般 2 CC17 - フットペダルは連続コントローラー #17 に影響します。

これはモジュレーションマトリックスを通じて割り当てることができます。

h – 一般 3 CC18 – フットペダルは連続コントローラー #18 に影響します。
これはモジュレーションマトリックスを通じて割り当てることができます。

i – 一般 4 CC19 – フットペダルは連続コントローラー #19 に影響します。
これはモジュレーションマトリックスを通じて割り当てることができます。

11. ビブラートアクション – を押すとネガティブ (デフォルト) に切り替わります。
フットペダルを踏むと効果が減少します。フットペダルアクションが増加する場合はプラス
効果と無効化。

12. Vibrato Trim L – 左側のビブラート ペダル エフェクトをトリミングできます。
チャンネル。0 (デフォルト) ~ 255 の間で連続的に可変します。

13. ビブラート トリム R – 右側のビブラート ペダル エフェクトをトリミングできます。
チャンネル。0 ~ 255 (デフォルト) の間で連続的に変化します。

14. Filter Assign – フィルターのフットペダル入力 (以下のバックパネル 89) を可能にします。
再割り当てされました。オプションは次のとおりです。

a – フィルター (デフォルト) – フットペダルでフィルターのカットオフ周波数を制御します。
コントロール 32 によって設定された現在のフィルター周波数設定間の範囲で
そしてフィルターが全開になった状態。

b – ビブラート – フットペダルでビブラートの量を制御します。
パフォーマンスセクションで選択された宛先への LFO
ボタン 76 と 77 を押します。モジュレーション レバー 74 は引き続きアクティブにな
ります。

c – アタック – フットペダルでラウドネスを変更します。アタックタイムをオーバーライド
します。
コントロール 45 から最大 14 秒まで。

d – リリース – フットペダルによりラウドネスが変更され、リリース時間がオーバーライド

されます。

コントロール 48、最大 20 秒まで。

e - ディケイ - フットペダルでラウドネスを変更します。ディケイタイムをオーバーライドします。

コントロール 46、最大 10 秒まで

f - 一般 1 CC16 - フットペダルは連続コントローラー #16 に影響します。
これはモジュレーションマトリックスを通じて割り当てることができます。

g - 一般 2 CC17 - フットペダルは連続コントローラー #17 に影響します。
これはモジュレーションマトリックスを通じて割り当てることができます。

h - 一般 3 CC18 - フットペダルは連続コントローラー #18 に影響します。
これはモジュレーションマトリックスを通じて割り当てることができます。

i - 一般 4 CC19 - フットペダルは連続コントローラー #19 に影響します。
これはモジュレーションマトリックスを通じて割り当てることができます。

15. フィルター アクション - を押すと負（デフォルト）に切り替わります。
フットペダルを踏むとエフェクトが減少します。ポジティブ; フットペダルアクションの場所
効果が増加し無効化されます。

16. Filter Trim L - 左チャンネルのフィルター ペダル エフェクトをトリミングできます。
0 (デフォルト) ~ 255 の間で連続的に可変します。

17. Filter Trim R - 右側のフィルターペダルエフェクトをトリミングできます。
チャンネル。0 ~ 255 (デフォルト) の間で連続的に変化します。

Sysex データダンプ

次の領域に関連するシステム エクスクルーシブ データの送信を制御します。

- a - **アッパー パッチ** – スプリットまたはアッパー キーボードで演奏されているパッチ
ダブルモード、それ以外の場合は現在のパッチ。
- b - **Lower Patch** – スプリットまたはローキーボードで演奏されているパッチ
ダブルモード。
- c - **現在のプログラム** – 現在のプログラム設定（上位および
下のパッチ、キーボードのスプリットポイント）。
- d - **バンク A/B/C/D** – 必要なパッチバンクの内容。
- e - **グローバル** – グローバル設定メニューの内容。
- f - **Split Double** – Split および Double プログラム メモリの内容。
- g - **チューニング 1 ~ 8** – ボイス 1 ~ 8 のチューニング設定（サポート）。
- h - **チューニング 9-16** – ボイス 9-16 のチューニング設定（サポート）。
- i - **現在の萎縮** – 現在のパッチの萎縮設定。
- j - **プロファイル** – UB-Xa に保存されているすべての萎縮プロファイル。

工場出荷時のデフォルト

保存されているデータを選択的に消去し、UB-Xa のデフォルトのデータに置き換えます。
と一緒に発送されます。次から選択できます。

- a – バンク A-D リセット
- b – 分割/二重プログラムのリセット
- c – 設定のリセット
- d – 萎縮のリセット
- e – フルリセット

ワイプはできないため、このオプションを使用するときは注意する必要があることが推奨されます。

逆転される。ワイプが完了する前に、キャンセルまたは確認を求めるメッセージが表示されません
場所。

ラスト・リカバリー

ユーザーが誤って編集した場合に、編集した最後のパッチを復元できるようにします。
何も書かずに去ります。

メインファームウェア

現在のファームウェアのバージョンを表示します。ファームウェアのアップデートは次から入手できます。

Behringer.com にアクセスし、Windows 用の SYNTHTRIBE アプリまたはマック。UB-Xa ファームウェアを最新の状態に保つことをお勧めします。
新しい機能にアクセスします。

14=====

ボイスファームウェア

現在のファームウェアのバージョンを表示します。ファームウェアのアップデートは次から入手できます。

Behringer.com にアクセスし、Windows 用の SYNTHTRIBE アプリまたはマック。UB-Xa ファームウェアを最新の状態に保つことをお勧めします。
新しい機能にアクセスします。

キーファームウェア

現在のファームウェアのバージョンを表示します。ファームウェアのアップデートは次から入手できます。

Behringer.com にアクセスし、Windows 用の SYNTHTRIBE アプリまたはマック。UB-Xa ファームウェアを最新の状態に保つことをお勧めします。新しい機能にアクセスします。

再調整する

校正ルーチンを実行します。操作中に を押すとキャンセルできます。ロータリーエンコーダ (62)。キャリブレーションには通常約 2.5 分かかります。

Shift & 59 – ヴィンテージ – ヴィンテージ設定メニュー (萎縮) にアクセスします。オプション

ロータリーエンコーダー (62) でスクロールでき、自動的にロードされ、パラメータが変更されると自動的に保存されます。萎縮の名前プロファイルの変更はパッチと同じ方法で行えます。ザ・ファクトリー「デフォルト」メニューを使用すると、元のバージョンを再ロードできます。

1. OB-Xa
2. OB-8
3. クリーミー/Creamy
4. 壊れた/Broken
5. 危険な/Gnarly
6. 明るい/Bright
7. モダン/Modern
8. ステレオ/Stereo

萎縮に関するメモ: 時間の経過とともに電子機器に使用されるコンポーネントサービス中に変更しない限り、劣化します。シンセサイザーではこれは時間の経過とともにシンセサイザーのサウンドが変化する効果。シンセサイザーが不安定になり使用できなくなるポイント原因。

UB-Xa はシンセサイザーの特性をエミュレートするように設計されています。完全に故障するまでにコンポーネントが劣化している。そしてこれらの変更された特性は、Vintage オプションを通じてロードできます。より細かい

調整は、以下で説明する音声メニュー オプションを通じて行うことができます。
必要に応じて、プリセットを上書きできます。

Shift & 60 – Initial – メモリからデフォルトのパッチを再ロードし、任意のパッチを上書きします。
行われた編集。選択コントロールを使用して確認します。

Shift & 63 – Bank/Page Down – 現在のパッチバンクを下方向に変更します (D/C/B/A)。

Shift & 64 – Bank/Page Up – 現在のパッチバンクを上に変更します (A / B / CD)。

Shift & 65 – USB / MIDI – USB および MIDI 設定にアクセスします

1. Channel In Upper – チャンネル 1 ~ 16 を選択します。すべてのチャンネルに応答するには、All を選択します。
[なし] を選択すると、MIDI 入力が無効になります。デフォルトは 1 です。ここで選択したチャンネルも 1 になります。
ノーマルモードで使用します。

2. Channel In Lower – チャンネル 1 ~ 16 を選択します。すべてのチャンネルに応答するには、All を選択します。
[なし] を選択すると、MIDI 入力が無効になります。デフォルトは 2 です

3. Channel Out Upper – チャンネル 1 ~ 16 または RxChannel を選択して MIDI を複製します。
チャンネル内。デフォルトは 1 です。ここで選択したチャンネルは、
ノーマルモード。

4. Channel Out Lower – チャンネル 1 ~ 16 または RxChannel を選択して MIDI In を複製します。
チャンネル。デフォルトは 2 です。

5. デバイス ID – デバイスの ID 番号を 1 ~ 16 から選択します (複数の場合)

Sysex の場合、ユニットは同じ MIDI 接続で使用されます。

6. Sync – シーケンサーとアルペジエーターの同期。以下から選択します:

a - 内部 - シーケンサーとアルペジエーターの使用率はコントロール 9 によって設定されます。

b - USB – シーケンサーとアルペジエーターは外部 MIDI デバイスからのクロックを使用します

USB ポート経由で接続されています。コントロール 9 は効果がありません。

c - DIN – シーケンサーとアルペジエーターは外部 MIDI デバイスからのクロックを使用します

MIDI In DIN ソケットに接続します。コントロール 9 は効果がありません。

7. ソング – UB-Xa がネットワークからのソング情報にどのように応答するかを制御します。USB または DIN の外部 MIDI ソース。次に対する応答を選択できます。

a - ソング位置ポインター (+/- ボタンを使用してオン (デフォルト) / オフ)。

b - Stop on Seek – SPP を受信するとシーケンサーが一時停止します (オン/オフ (デフォルト))

+/- ボタンを使用します)。

c - すべて停止オフ – シーケンサーが一時停止するとすべてのノートがオフになります (オン (デフォルト) / オフ)

+/- ボタンを使用します)。

d - Keystart Seq – を押すことでシーケンスを一時停止から再開できます。

キーボードのキー (+/- ボタンを使用してオン (デフォルト) / オフ)。シーケンス使用されているキーに移調されます。スプリットパッチと一緒に使用すると、この機能は、シーケンスがそのゾーンに記録されている場合にのみ動作します。彼らの鍵は入っています。

e – Start EN Seq – MIDI スタート、ストップ、コンティニュー コマンドを使用して、シーケンサーのオートアーム (+/- ボタンを使用してオン (デフォルト) / オフ)

f – Start EN Arp – MIDI スタート、ストップ、コンティニュー コマンドを使用して、アルペジエーターのオートアーム (+/- ボタンを使用してオン/オフ (デフォルト))

8. 転送 – DIN と DIN の間で MIDI データを転送する方法を選択します。

USB ポート:

a – DIN から USB (+/- ボタンを使用してオンまたはオフ (デフォルト)) – 着信を転送します

DIN MIDI In から USB MIDI OUT への MIDI データ。

b – USB から DIN (+/- ボタンを使用してオンまたはオフ (デフォルト)) – 着信を転送します

USB ポートから DIN MIDI OUT への MIDI データ。

c – DIN から DIN (+/- ボタンを使用してオンまたはオフ (デフォルト)) – 着信を転送します

DIN MIDI IN から DIN MIDI OUT への MIDI データ。ご了承ください。

同じ外部ソースが接続されている場合は、このオプションを選択しないでください。

UB-Xa の DIN MIDI IN と DIN MIDI OUT の両方。

d – USB への Rt (+/- ボタンを使用してオンまたはオフ (デフォルト)) – システム実数を転送します

UB-Xa から USB MIDI OUT への時間データ (開始/停止/一時停止/継続)。

e – Rt から DIN (+/- ボタンを使用してオンまたはオフ (デフォルト)) – システム実数を転送します

UB-Xa から DIN MIDI OUT への時間データ (開始/停止/一時停止/継続)。

f – DIN へのクロック (+/- ボタンを使用してオンまたはオフ (デフォルト)) – クロック データを送信します

USB MIDI IN から DIN MIDI OUT へ受信します。

g-USB へのクロック (+/- ボタンを使用してオンまたはオフ (デフォルト))- クロック データを送信します

DIN MIDI In から USB MIDI OUT に受信します。

h- ArpSeq Sel (+/- ボタンを使用してオンまたはオフ (デフォルト))-

アルペジエーターとオンボードシーケンサーを MIDI OUT に接続します。

9. ローカル コントロール - UB-Xa を制御する方法を選択し、他のものを制御します。

装置：

a- ローカル コントロール - を使用して UB-Xa のキーボードをオン (デフォルト) またはオフに切り替えます。

+/-ボタン。

b- DIN Rt- システム リアルタイム データの送信を切り替えます。(開始/停止/一時停止/続行) UB-Xa から DIN MIDI OUT へ (+/- ボタンを使用してオン (デフォルト) またはオフ)。

15=====

c- DIN Clock- DIN MIDI OUT を介した内部クロックの送信を切り替えます (オン) (デフォルト) または +/- ボタンを使用してオフにします)。

d- USB Rt- システム リアルタイム データの送信を切り替えます (開始/停止/一時停止/継続) UB-Xa から USB MIDI OUT (+/- を使用してオン (デフォルト) またはオフ) ボタン)。

e- USB クロック - USB 経由の内部クロックの送信を切り替えます (オン) (デフォルト) または +/- ボタンを使用してオフにします)。

f- プログラムチェンジ Rx- プログラムとバンクチェンジの受信を切り替える

DIN または USB 経由のメッセージ (+/- ボタンを使用してオンまたはオフ (デフォルト))。

g- プログラムチェンジ送信 - プログラムとバンクの送信を切り替えます

DIN または USB 経由でメッセージを変更します (+/- を使用してオンまたはオフ (デフォルト)) ボタン)。

h- Surface NRPN - 次の場合に NRPN メッセージの送信を切り替えます。

コントロールはオンまたはオフに調整されます (デフォルト)。NRPN がオフの場合、MIDI CC は伝わった。

UB-Xa が他の MIDI の同期マスターとして機能している場合に注意してください。機器の再生/一時停止または停止ボタンを短く押すだけで有効になります。または、UB-Xa 自体のシーケンサーを無効にします。外部機器を制御するにはダブルプレスまたは長押しを使用してください。

10. USB コントロール - UB-Xa が MIDI にどのように応答し、送信するかを選択します。USB 経由のメッセージ

a- NRPN Tx - 非登録パラメータ番号の送信を切り替えます

USB 経由でパラメータを粗調整および微調整できます (許可されている場合、または +/- ボタンを使用してオフ (デフォルト) にします)。

b- NRPN Rx - 非登録パラメータ番号の受信を切り替えます

可能な場合は、USB 経由でパラメータの粗調整と微調整を行うことができます (オン (デフォルト) または +/- ボタンを使用してオフにします)。

c- CC Tx - USB 経由での連続コントローラー データの送信を切り替えます (オン (デフォルト) または +/- ボタンを使用してオフにします)。

d- CC Rx - USB 経由の連続コントローラー データの受信を切り替えます (オン (デフォルト) または +/- ボタンを使用してオフにします)。

11. DIN コントロール - UB-Xa が MIDI にどのように応答し、送信するかを選択します。

DIN 経由のメッセージ

a - NRPN Tx - 非登録パラメータ番号の送信を切り替えます

DIN を介して、パラメータの粗調整および微調整が可能な場合（または +/- ボタンを使用してオフ（デフォルト）にします）。

b - NRPN Rx - 非登録パラメータ番号の受信を切り替えます

DIN 経由でパラメータを粗調整および微調整できます（オン）（デフォルト）または +/- ボタンを使用してオフにします）。

c - CC Tx - DIN を介した連続コントローラ データの送信を切り替えます（オン）

（デフォルト）または +/- ボタンを使用してオフにします）。

d - CC Rx - DIN を介した連続コントローラ データの受信を切り替えます（オン）

（デフォルト）または +/- ボタンを使用してオフにします）。

12. MPE Pitch Lower - ピッチベンドの MPE コントロールの感度を制御します。

下のキーボードは 0 ~ 96 です。デフォルトは 48 です。

13. MPE Pitch Upper - ピッチベンドの MPE コントロールの感度を制御します。

上部キーボード、0 ~ 96。デフォルトは 48。

14. MPE プロファイル - MPE プロファイルを選択します。シングルは 15 チャンネルを割り当てます

チャンネル 1 をベースに MPE コントロールをキーボードの広がりまで再現

チャンネル; または 上下に 7 チャンネルずつ割り当てたゾーン

キーボード、チャンネル 1 が下位ベースチャンネル、チャンネル 16 が下位ベースチャンネル アッパー。このオプションでは MPE を無効にすることもできます。デフォルトは無効です。

注記

MPE では、オプション 1 および 2 で選択された MIDI Rx チャンネルが無効になることモード。

MPE の詳細な説明については、マニュアル後半の MPE の章を参照してください。
の動作、特に UB-Xa との動作について説明します。

Shift & 66 – ペロシティとアフタータッチ

1. ポルタ モード – さまざまなポルタメント タイプを選択できます。

a – 一致 – 各音符のポルタメントの速度を一致させて、音符が到着するようにします。
同時に目的地に到達します (+/- ボタンを使用してオンまたはオフ (デフォルト))。

b – クオンタイズ – 標準の滑らかなポルタメント カーブを切り替えます。
もう 1 つは、音符が音符の間を半音ずつ滑っていくもの (オンまたはオフ
(デフォルト) +/- ボタンを使用)。

c – ベンド – 標準のポルタメントと、標準的なポルタメントを切り替えます。
同じコードを演奏するときは常に最高音から最低音へのベンドです。
繰り返します (+/- ボタンを使用してオンまたはオフ (デフォルト))。

d – 指数関数的 – すべての音声が届くまでに同じ長さの時間がかかります。
新しいノート (+/- ボタンを使用してオンまたはオフ (デフォルト))。

2. ユニゾン優先度 – 以下 (デフォルト)、上、最後のノートを切り替えます。
ユニゾンモード時の優先順位。

3. コード優先度 – 以下 (デフォルト)、上、最後の音符の間で切り替えます。
コードモード時の優先順位。

4. アフタータッチアウト – チャンネルプレッシャーとポリフォニックを切り替えます
MIDI OUT のアフタータッチ (デフォルト)。

5. AT Curve – アフタータッチカーブの強度を設定します。オプションはソフト、ミディアム
です
(デフォルト) およびハード。

6. Aftertouch Flt – フィルターに影響を与えるアフタータッチの量を 0 (なし) から設定しま

す。

影響) から 127 (完全な影響) まで。デフォルトは 63 です

7. Vel Curve – ベロシティカーブの強度を設定します。オプションはソフト、ミディアム (デフォルト) とハード。

8. Vel Scale – 速度応答レベルを 0 (最小) から 127 まで設定します。(最大)。デフォルトは 63 です。

Shift & 67 – 音声メニュー

萎縮 – 現在のプロファイルの萎縮設定を変更できます。

1. 2pole Floor – フィルター周波数の最小点を調整します。

フィルターが 2 極モードの場合は制御 (32)。8.18Hz から 130.81Hz までヘルツ。

2. 4pole Floor – フィルター周波数の最小点を調整します。

フィルターが 4 極モードの場合は制御 (32)。8.18Hz から 130.81Hz までヘルツ。

3. FltrFreq Amount – フィルター周波数の感度を調整します。

コントロール (32) を 48 半音から 111 半音まで調整します。

4. FEnv Freq Amt – フィルター変調コントロールの範囲を調整します。

(34) 48 半音から 175 半音まで。デフォルトはすべてのプロファイルで 120 です。

5. ltrLFO Depth – LFO のフィルターモジュレーションの範囲を調整します。

ボタン 18 と深さコントロール (15) によって選択されます。48 半音から 175 半音。

6. Res 2pCV Cap – レゾナンスコントロールの最大レベルを制限します。

(33) フィルタが 2 極モードの場合。50.20%から 100.00%まで。で 97.00 % 未満の設定では、フィルターは自己発振しません。

7. Res 4pCV Cap – レゾナンスコントロールの最大レベルを制限します。

(33) フィルターが 4 極モードの場合。0.00%から 100.00%まで。で
設定が 48.00 % 未満の場合、フィルターは自己発振しません。

8. フィルタードリフト - フィルター周波数カットオフにランダムな電圧を追加します。

0.00 セントから 400.00 セントまでの範囲で効果が大きくなります
高い設定で顕著になります。すべてのプロファイルのデフォルトは 0.00 セントです。

16=====

9. FVPO エラー – フィルターの追跡に固定エラーを追加します。

FInit Freq (オプション 11) で設定された周波数以下で平坦化し、
上記のシャープネスは、オクターブあたり -50.79 セントから 49.21 セントまでです。
オクターブ。

10. FVPO ドリフト – フィルターのトラッキングのランダム化範囲を設定します。

オプション 11 で設定した初期周波数 (0.00 セントから) から遠ざかります。
オクターブあたり 50.00 セントまで。デフォルトは 0.00 セント/オクターブです。
すべてのプロファイル。

11. FInitFreq – FVPO ドリフトと FVPO エラーの開始周波数を設定します。

8.18 Hz ~ 12543.86 Hz。

12. FDrift Speed – フィルタードリフトの変化速度を 0.00 から設定します。

%/秒 (ドリフトなし) から 61.50%/秒。

13. FENV Drift – フィルターエンベロープのアタック、ディケイにランダム化を追加します。

およびリリース設定、0.00 エンベロープ ユニットから 32.00 エンベロープまで
単位。すべてのプロファイルのデフォルトは 0.00 です。

14. FTrack Offset – フィルターキーボードトラッキングに負のオフセットを追加します。

0.00 半音から-63.00 半音まで半音単位で調整します。

デフォルトは、すべてのプロファイルで -20.00 半音です。

15. Ftrack Offset – フィルターキーボードトラッキングに負のオフセットを追加します。
0.00 半音から-63.00 半音まで半音単位で調整します。
デフォルトは、すべてのプロファイルで -20.00 半音です。デフォルトは -20.00 半音です
すべてのプロファイルで。

16. FEnv Attack – フィルターエンベロープアタックの直線性を調整します。
0% ~ 100%。

17. OSC Drift – 音声の混沌とした離調を導入します。
中心ピッチは 0.00 セントから 100.00 セントまで。

18. OscVPOError – VCO のオクターブトラッキングごとの電圧を調整します。
その結果、低音部がわずかに平坦になり、高音部が変化します。
オクターブあたり -6.25 セントから 5.86 セントまで、わずかにシャープになります。
オクターブ。デフォルトは、すべてのプロファイルでオクターブあたり 0.00 セントです。で
のみ動作します
ユニゾンモード。

19. OSCVPO Drift – VCO の追跡にランダム化を追加します。
最初から 0.00 セント/オクターブから 12.50 セント/オクターブまで
オプション 19 で設定された周波数。Unison モードでのみ機能します。

20. OSCInitFreq – VCO の初期周波数を Hz 単位でオフセットします。
VPO エラーやカオスが発生した場合でも、指定されたノートは正確になります。
8.18 Hz ~ 12543.86 Hz。デフォルトは

21. Odrift Speed – OSCVPO Drift パラメータの速度を調整します。
1 秒あたり 0.00 % (ドリフトなし) から 1 秒あたり 61.50 % まで動作します。

22. ポルタ スプレッド – スプレッドの継続的な調整
ポルタメントエフェクト、0.00 % ~ 100.00 %。デフォルトは 100.00 % です。
すべてのプロファイル。

23. Porta Speed – ポルタメントの速度を連続的に調整します。

効果は 0.00 % ~ 100.00 % です。

24. VCOLFO Amt – 変調深度コントロール (15) の範囲を次のように設定します。

ボタン 16 と 17 で選択されたオシレーター。6 半音から

48 半音まで。フィルタモジュレーションには影響しません。

ボタン 18 を使用して選択します。

25. FEnv Osc Amt – フィルターエンベロープボタン (28) の範囲を次から設定します。

1 半音から 63 半音まで。デフォルトはすべてのプロファイルで 12 半音です。

26. VCA オフセット: VCA の最小音量を下げます。0.00%から

78.43%。デフォルトはすべてのプロファイルで 30% です。

27. VCA 2p Bias – フィルターがオンのときの VCA の減衰を設定します。

2 極モード。0.00%から 100.00%まで。

28. VCA Uni Bias – ユニゾン時の VCA の最大レベルを下げます。

モードがオンになっています。0.00 % ~ 100.00 %。

29. ボリューム バイアス – VCA の最大レベルを 0.00 % から 0.00 % まで調整します。

100.00%。

30. VCAEnv Attack – アタック部分のエンベロープの直線性を調整します。

VCA で。0.00 % ~ 100.00 % まで連続的に調整可能。

31. VCA Env Drift – VCA エンベロープ攻撃にランダム化を追加します。

ディケイとリリースの設定、0.00 エンベロープ単位から 32.00

エンベロープユニット。すべてのプロファイルのデフォルトは 0.00 です。

32. 01PWM Trim L – PWM 制御 (19) の最大幅を設定します。

オシレーター 1 のボイスを左にデューティの 0.00 % ~ 100.00 %

サイクル。すべてのプロファイルのデフォルトは 0.00 です。

33. 01PWM TrimR – PWM 制御 (19) の最大幅を設定します。

オシレーター 1 のボイスを右に、デューティの 0.00 % ~ 100.00 % サイクル。

34. 02PWM Trim L - PWM 制御 (19) の最大幅を設定します。
オシレーター 左の 2 ボイス、デューティの 0.00 % ~ 100.00 % サイクル。すべてのプロファイルのデフォルトは 0.00 です。

35. 02PWM TrimR - PWM 制御 (19) の最大幅を設定します。
オシレーター 1 のボイスを右に、デューティの 0.00 % ~ 100.00 % サイクル。

36. PWMLFO Amt - LFO パルス幅の最大深さを設定します。
変調、0.00 % ~ 100.00 %。

37. PWMLFO Shift - LFO パルス幅に固定オフセットを追加します。
変調、-50.20 % ~ 49.80 %。

38. OB-8 Quirks - LFO 方形波と VCF の位相を可能にします
変調は個別に反転されます。

39. ModLFO Limit - LFO レート コントロール (13) の上限を設定します。
0.10Hz~60.00Hz。

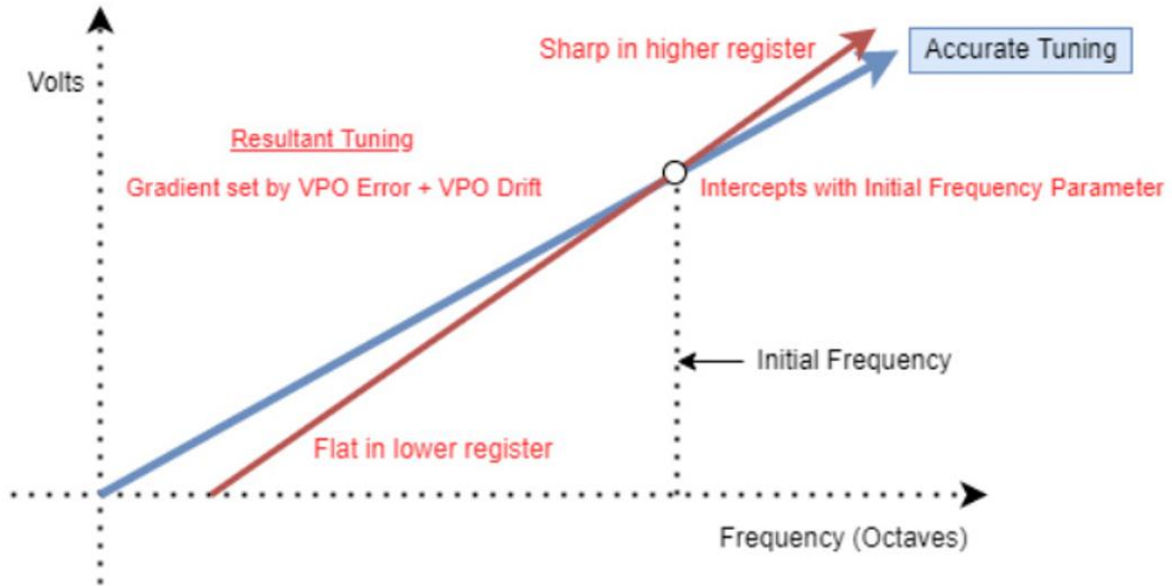
40. PerfLFO Limit - パフォーマンス LFO レートの上限を設定します。
コントロール (69) を 0.10 Hz から 60.00 Hz まで調整します。

17=====

以下の表は、プロファイル間で異なる萎縮コントロールのデフォルト設定を示しています。

プロフィール	UB-Xa	OB-8	クリーミー	エイジ
ド	ぎこちない	ブライト	モダン	ワイド

Profile	UB-Xa	OB-8	Creamy	Aged	Gnarly	Bright	Modern	Wider
2pole Floor	11.56	13.75	25.96	25.96	8.18	92.50	25.96	11.56
4pole Floor	13.75	16.35	34.65	34.65	8.18	65.41	34.65	13.75
FiltrFreq Amount	82.00	65.00	75.00	96.00	96.00	96.00	96.00	82.00
FiltrLFO Depth	48.00	48.00	48.00	48.00	175.00	120.00	120.00	48.00
Res 2pCV Cap	96.09	95.31	96.09	96.09	96.09	96.09	96.09	96.09
Res 4pCV Cap	60.00	32.94	60.00	60.00	100.00	60.39	60.00	60.00
Filter Drift	158.73	0.00	50.79	0.00	0.00	203.17	0.00	0.00
FVPO Error	-25.40	-25.40	-12.70	49.21	-25.40	-50.79	0.00	-25.40
FVPO Drift	0.00	0.00	37.30	25.40	25.40	0.00	0.00	0.00
Finit Freq	329.63	329.63	329.63	329.63	2093.00	2093.00	329.63	329.63
Fdrift Speed	2.93	0.00	46.86	61.50	31.24	31.24	31.24	2.93
Ftrack Offset	-16.00	-20.00	-20.00	-20.00	-20.00	-20.00	-20.00	-16.00
FEnv Attack	100.00	82.54	82.54	82.54	1.59	0.00	0.00	0.00
OSC Drift	1.59	0.00	7.94	12.70	3.17	1.59	0.00	1.59
Osc VPO Error	0.00	0.00	2.34	-1.17	-0.39	0.00	0.00	0.00
OSC VPO Drift	4.37	0.00	0.99	0.00	7.94	1.59	0.00	4.37
Osc Init Freq	329.63	329.63	329.63	8.18	440.00	8.18	8.18	329.63
Odrift Speed	0.98	0.00	61.50	61.50	61.50	61.50	61.50	0.98
Porta Speed	73.33	24.91	25.10	25.10	25.10	25.10	25.10	73.33
VCOLFO Amt	12.00	15.00	12.00	12.00	12.00	12.00	12.00	12.00
VCA 2p Bias	100.00	100.00	90.98	90.98	90.98	90.98	90.98	91.37
VCA Uni Bias	96.86	97.25	90.20	90.20	100.00	90.20	90.20	96.86
Volume Bias	96.47	89.02	96.47	96.47	96.47	100.00	96.47	96.47
VCA Env Attack	82.54	63.49	82.54	82.54	82.54	82.54	82.54	82.54
O1 PWM TrimR	87.06	100.00	90.98	90.98	90.98	90.98	90.98	87.06
O2 PWM TrimR	87.06	100.00	90.98	90.98	90.98	90.98	90.98	87.06
PWMLFO Amt	70.59	97.25	55.69	55.69	55.69	55.69	55.69	70.59
PWM Lfo Shift	6.27	5.10	0.78	0.78	0.78	0.78	0.78	6.27
OB-8 Quirks	Both off	Both on	Both off	Both off	Both off	Both off	Both off	Both off
ModLFO Limit	24.32	51.62	37.25	37.25	37.25	37.25	37.25	24.32
PerfLFO Limit	12.99	51.62	37.25	24.94	60.00	24.94	24.94	12.99



上のグラフは、FVPO エラー、FVPO ドリフト、FDrift 速度、FInitFreq に適用されます。周波数はフィルターとの関係で、周波数はフィルターの周波数と関係します。フィルターの共鳴ピーク。OSCVPO エラー、OSCVPO ドリフト、ODrift 速度、OSCInitFreq ここで、周波数はオシレーターのピッチに関係します。これらパラメータを使用すると、あたりのボルトをエミュレートしてフィルタのチューニングを調整できます。ヴィンテージシンセサイザーのオクターブキャリブレーションチューニングエラー。

VPO 誤差は、相対的なオクターブあたりのボルトの勾配に対する一定のスケーリングです。初期周波数に合わせると、初期周波数は正確で正確です。VPO ドリフトは各音声に独立した少量のランダムな係数がこの係数に追加されます。VPO ドリフトが変化する速度は、それぞれのドリフト速度によって設定されます。パラメーター。

パンニング パン - を使用して、ステレオ フィールド内の各音声の位置を個別に設定します。

ロータリーエンコーダーを押して音声をスクロールし、押して音声を入力します。エンコーダーを使用して、選択した音声をステレオでパンすることができます。

フィールド:-127 は左に完全にパンされます。0 が中心です。127 は完全に右にパンされます。デフォルトはすべてのボイスで 0 です。左右のハードパンを瞬時に設定可能値の +/- ボタン。

抑制する

Inhibit オプションは修復および診断での使用を目的としていることに注意してください。必要な場合を除き、設定を調整しないでください。

Toggle 1-8 - ボイス 1-8 を個別にオンまたはオフに切り替えることができます。 +/- ボタンを使用します。デフォルトはオンです。

Toggle 9-16 - ボイス 9-16 を個別にオンまたはオフに切り替えることができます。 +/- ボタンを使用します。デフォルトはオンです。

PWMCal1to8 - ボイス 1 ~ 8 の PWM キャリブレーションを個別に実行できます。 +/- ボタンを使用して禁止します。デフォルトはオンです。

PWMCal9to16 - ボイス 9 ~ 16 の PWM キャリブレーションを可能にします。 +/- ボタンを使用して個別に禁止します。デフォルトはオンです。

VCOCal1to8 - ボイス 1 ~ 8 の VCO キャリブレーションを個別に実行できます。 +/- ボタンを使用して禁止します。デフォルトはオンです。

VCOCal9to16 - ボイス 9 ~ 16 の VCO キャリブレーションを個別に実行できます。 +/- ボタンを使用して禁止します。デフォルトはオンです。

VCFCal1to8 - ボイス 1 ~ 8 の VCF キャリブレーションを個別に実行できます。 +/- ボタンを使用して禁止します。デフォルトはオンです。

VCFCal9to16 - ボイス 9 ~ 16 の VCF キャリブレーションを個別に行うことができます。 +/- ボタンを使用して禁止します。デフォルトはオンです。

Shift & 68 – モジュレーションマトリックス

変調マトリックスにより、利用可能なソースをルーティングできます。

深さ 0 ~ 127 (通常) または 0 ~ -127 (反転) の使用可能な宛先。各パッチには利用可能な 8 つのマトリックスがあります。

メニュー内で +/- ボタンを使用して選択します。

ソース

ロータリー キーを使用して利用可能なオプションをスクロールすることで選択できます。

エンコーダー (62) を押して Enter を押すか、関連するコントロールを移動または押してください。

可能な場合は上部パネルにあります。ソースからサイクルを入力します。目的地と額。マトリックスを選択して、 を押し続けると、マトリックスをクリアできます。

ロータリーエンコーダーを 1 秒間押します。利用可能なソースは次のとおりです。

空/Empty (ソースが選択されていない)

ATMono (モノラルアフタータッチ)

ATPoly (ポリフォニックアフタータッチ)

Breath (受信連続コントローラー #2 (Breath))

CH1Env (モジュレーションチャンネル 1 エンベロープ)

CH2 Env (モジュレーションチャンネル 2 エンベロープ)

CH1Mod (変調チャンネル 1 (周波数))

CH2Mod (変調チャンネル 2 (パルス幅変調))

Express (受信連続コントローラー #11 (式))

フィルター (すべてのフィルター コントロールの集合体)

FtrEnv (フィルターエンベロープ)

KyMono (最後に演奏されたノートを使用したモノフォニック キーボード トラッキング)

KyPoly (ポリフォニック キーボード トラッキング)

LdnEnv (ラウドネスエンベロープ)

LFOMod (モジュレーション LFO)

LFOPrf (パフォーマンス LFO)

ノイズ (ホワイトノイズジェネレーター)

ModLvr (モジュレーションレバー(74))
OSC1Fr (オシレーター 1 周波数制御 (23))
OSC2Fr (オシレーター 2 周波数制御 (29))
OSC1PW (オシレーター 1 のパルス幅の深さ)
OSC2PW (オシレーター 2 のパルス幅の深さ)
PchBnd (ピッチベンドレバー(75))
Resnce (フィルターレゾナンスコントロール(33))
Portam (ポルタメントコントロール(6))
PerfCh (すべてのパフォーマンス LFO コントロールの集合体)
VCA L (左手出力 VCA レベル)
VCA R (右手出力 VCA レベル)
Velcty (キーボードベロシティ)
Butter (モジュレーションはボイスごとに直線的に増加します。最後のボイス
プレイするとフルレベルになります)
#16 (Continuous コントローラー #16、フットペダルまたは
外部装置)
#17 (連続コントローラー #17、フットペダルまたは
外部装置)
#18 (連続コントローラー #18、フットペダルまたは
外部装置)
#19 (連続コントローラー #19、フットペダルまたは
外部装置)
MLvrUp (変調レベル上昇モーション)
MLvrDn (変調レベルの下降動作)
MPETbr (MIDI MPE 音色 (アップダウンアクション))
MPEPb (MIDI MPE ピッチベンド (左から右へのアクション))
MPEPrs (MIDI MPE プレッシャー)
8L*8R (8 ボイスは左に強くパンされ、8 ボイスは右に強くパンされます)
LR を反転/Flip LR (奇数の音声を左にパン、偶数の音声を右にパン)
スパイラル/Spiral (音声が L/R に交互にパンされ、新しい音声がさらにパンされる)
中心から)

ディストーション

これらの宛先には、変調ソースを割り当てることができます。

空/Empty (宛先が選択されていません)

Churn (Butter モジュレーションを乗算します)

FltrAttk (フィルターエンベロープのアタックを増減します。
フィルターアタックコントロール付き (41))

FltrDecy (フィルターエンベロープの減衰を増減します。
フィルターディケイコントロール付き (42))

FltrFreq (コントロール 32 で設定されたフィルター周波数に加算または減算)
フィルターエンベロープや LFO などの選択されたモジュレーションソース)

FltrMod (フィルター変調の量を増減します。
Filter Modulation コントロール (34) と組み合わせて使用します)

FltrNoise (フィルター入力へのホワイト ノイズ コンテンツを増加させます。
ノイズレベルコントロール付き 35)

FltrRels (フィルターエンベロープのリリースを増減します。
フィルターリリースコントロール (44) を使用)

FltrRsnce (フィルターレゾナンスの量を増減します。
フィルターレゾナンスコントロールと組み合わせて (33))

FltrSust (フィルターエンベロープのサステインレベルを増減します。
Sustain コントロールと組み合わせて (43))

LdnssAttk (ラウドネスエンベロープアタックを増減します。)

ラウドネス アタック コントロールと組み合わせて (45))

LdnssDecy (ラウドネスエンベロープ減衰を増減します。

ラウドネスディケイコントロールと組み合わせて (46))

LdnssRels (ラウドネスエンベロープリリースを増減します。

ラウドネス リリース コントロール (48) と併用)

LdnssSust (ラウドネスサステインレベルを増減します。

ラウドネス・サステイン・コントロールと組み合わせて (47))

ModCh1Amt (チャンネル 1 変調の深さを増減します)

(周波数) と深度コントロール (15))

ModCh2Amt (チャンネル 2 変調の深さを増減します)

(PWM) 深さ制御と組み合わせて (19))

ModLFOPhs (モジュレーション LFO の位相を変更します)

ModLFORte (モジュレーション LFO のレートを増減します)

レート制御と組み合わせて (13))

O1 PWAmnt (パルス幅の量を増減します)

デプスコントロールと連動したオシレーター 1 へのモジュレーション
(19))

O1 Trnsps (周波数制御と連動してオシレーター 1 をトランスポーズします) (23))

O2 Detune (O2 Detune に対するオシレーター 2 のデチューンを増減します)

Detune コントロールと連動したオシレーター 1 (8))

O2 PWAmnt (パルス幅の量を増減します)

デプスコントロールと連動したオシレーター 1 へのモジュレーション
(19))

O2 Trnsps (周波数制御と連動してオシレーター 2 をトランスポーズ) (29))

パンニング (モジュレーションソースは音声のパンニングを制御します)
左から右へ)

Porta (ポルタメントの時間を増減します。
コントロール(6))

PrfLFOAmt (パフォーマンス LFO の深さを増減します。
深さコントロール (72) と組み合わせて)

PrfLFORate (パフォーマンス LFO のレートを増減します。
レート制御と組み合わせて (69))

チューニング/Tuning (UB-Xa のマスター チューニングを上げたり下げたり、連動して
マスターチューンコントロール付き (5))

V Detune (音声のデチューンの量を増減します。
Voice Detune コントロール (Shift & 8) と併用)

ボリューム/Volume (UB-Xa の全体的なレベルを増減します)

Shift & 69 (LFO Rate) – パフォーマンス LFO Sync – Shift ボタンを押したままにする
パフォーマンス LFO レート コントロールを回すと、LFO がクロックに同期します。
シーケンサーとアルペジエーターによって使用されます。オプションは次のとおりです。

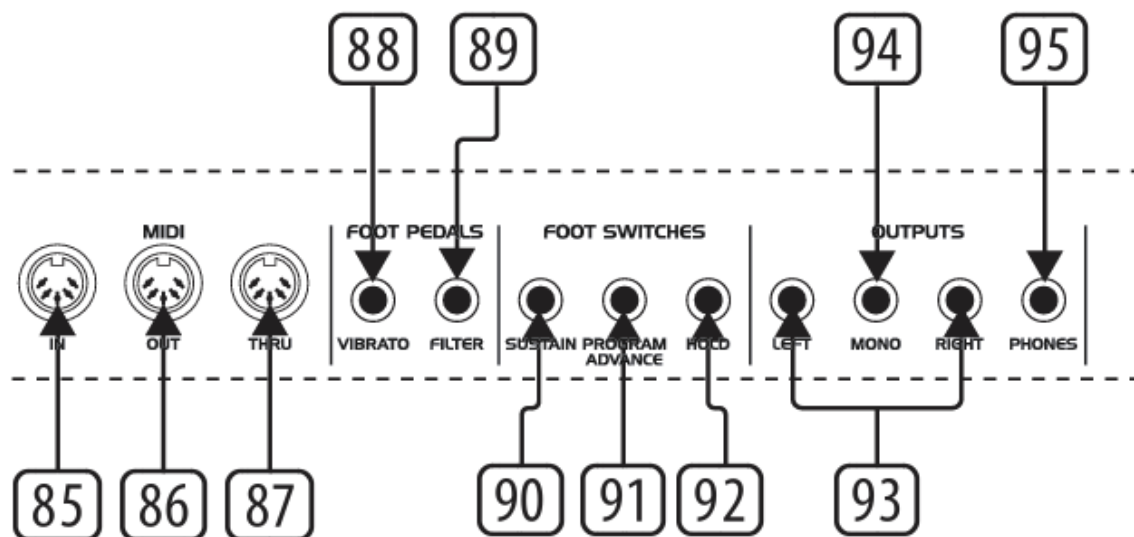
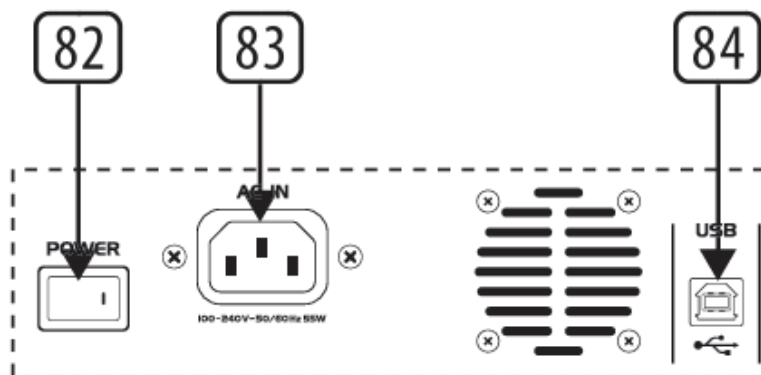
- 4Bar
- 2Bar
- 1Bar
- 1/2 ノート
- 1/4 注意
- 付点 1/4 音符
- 4分音符 3 連符
- 1/8 ノート

- 付点 1/8 音符
- 1/8 3 連音符
- 1/16 ノート
- 付点 1/16 音符
- 1/16 3 連音符
- 1/32 ノート
- 付点 1/32 音符
- 1/32 3 連音符

シフトせずにレート コントロールを動かすと、LFO がフリー ランニングに戻ります。

20=====

後面パネル



UB-Xa の背面パネルには、電源、周辺機器、およびコミュニケーション。冷却用のファンと通気口も付いています。大事です UB-Xa の後ろに空気が自由に流れるのに十分なスペースがあること。損傷が発生する可能性があります。

(82)

電源スイッチ – UB-Xa のオンとオフを切り替えます。

(83)

AC IN – UB-Xa に付属の IEC リードのみを使用してください。

100V～240V の範囲の AC 主電源で動作します。

(84)

USB – USB タイプ B コネクタ。USB から UB-Xa を制御できます。

標準 USB リード経由の外部 MIDI ソース。USB ポートは次の目的でも使用されます。

必要に応じて、UB-Xa のファームウェアを更新します。

(85)

MIDI IN – UB-Xa を外部ソースから制御できるようにします。

標準 5 ピン MIDI リード経由で DAW として使用できます。

(86)

MIDI OUT – UB-Xa を使用して生成された MIDI データを送信します。

外部機器または DAW への録音による。

.

(87)

MIDI THRU – MIDI In ソケット経由で受信した MIDI メッセージをミラーリングします。

他の機器で使用するため。

(88)

VIBRATO – Behringer などの外部ペダルの使用を可能にします。

FC600、UB-Xa のビブラートをコントロールします。ペダル使用時は

Depth (72) と Modulation Lever (75) コントロールで合計されます。

最大値に達するまで。ペダルを元の位置に戻す

最小値は、Depth と Lever をオーバーライドします。

ビブラートペダルのアクションは、グローバルボタンを使用して再割り当てできます。
設定メニュー。

(89)

FILTER – Behringer FC600 などの外部ペダルの使用を可能にします。

UB-Xa のフィルターを開閉します。ペダルの出力オーバーライド

周波数制御 (32)。

フィルターペダルのアクションは、グローバル設定を使用して再割り当てできます。
メニュー。

(90)

SUSTAIN – Behringer FS112B などのディレイ用フットスイッチの入力
ラウドネス エンベロープがリリース タイムに達する。ラッチのないペダル
ラッチ動作はグローバル設定で変更できるため、使用する必要があります。
メニュー。

サステインペダルのアクションは、グローバルボタンを使用して再割り当てできます。
設定メニュー。

(91)

PROGRAM ADVANCE – Behringer などのフットスイッチの入力
FS112B、UB-Xa を次の数値プログラムに移動します。
現在の銀行。

プログラムアドバンスペダルのアクションは、
グローバル設定メニュー。

(92)

HOLD – トップパネルの Hold ボタン (9) の動作を複製します。

ホールド ペダルのアクションは、グローバル設定を使用して再割り当てできます。
メニュー。

(93)

LEFT/RIGHT – ステレオ用のバランス出力。TRS リードを使用する必要があります
バランスのとれた使用のために。

(94)

MONO – 左右の加算から得られるモノラル出力
出力。

(95)

PHONES – 適切なヘッドフォンで使用するステレオ出力。

プリセットパッチ

UB-Xa には、Banks AD にロードされた 403 のプリセット パッチが付属しています。これらは編集して上書きしたり、独自の作品に置き換えたりすることができます。

パッチは UB-Xa の 4 つのパッチバンクのいずれかに保存でき、バックアップすることもできます。

Sysex ライブラリアンを使用してアップします。工場出荷時のプリセットをバンクに復元可能なバンクベースで

バンク A – クラシック パッチ/Bank A – Classic Patches

- 1 Brass Ensemble
- 2 Clavinet
- 3 Low Strings
- 4 Electric Piano
- 5 Rotary Organ
- 6 Flutes
- 7 Harpsichord
- 8 Rock Unison
- 9 French Horns
- 10 Celeste
- 11 High Strings
- 12 RMI Piano
- 13 Pipe Organ
- 14 Xa Chorus
- 15 Harp
- 16 Calliope
- 17 Trumpet Ensemble

- 18 Harmonica
- 19 Strings 1
- 20 Accordion
- 21 Filter Drone
- 22 Bagpipes
- 23 Banjo
- 24 Rush Rezz
- 25 Trumpets
- 26 Mellow Wow
- 27 Slow Strings
- 28 Resonance Sweep
- 29 Combo Organ
- 30 Double Reed
- 31 Farr's Funk
- 32 Pizzicato
- 33 Modern Horns
- 34 Bass 1
- 35 Four Pole

- 1 金管アンサンブル
- 2 クラビネット
- 3 低音弦
- 4 エレクトリックピアノ
- 5 ロータリーオルガン
- 6 フルート
- 7 チェンバロ
- 8 ロックユニゾン
- 9 フレンチ ホルン
- 10 セレステ
- 11 高弦楽器
- 12 RMI ピアノ
- 13 パイプオルガン
- 14 ザ・コーラス
- 15 ハープ

- 16 カリオペ
- 17 トランペットアンサンブル
- 18 ハーモニカ
- 19 ストリングス 1
- 20 アコーディオン
- 21 フィルタードローン
- 22 バグパイプ
- 23 バンジョー
- 24 ラッシュレズ
- 25 トランペット
- 26 メロウ・ワウ
- 27 スローストリングス
- 28 レゾナンススイープ
- 29 コンボオルガン
- 30 ダブルリード
- 31 ファーズ・ファンク
- 32 ピチカート
- 33 モダンホルン
- 34 バス 1
- 35 フォーポール

21=====

- 36 Reed Piano
- 37 Perc Organ
- 38 Sax
- 39 Harp 2
- 40 Oriental Unison
- 41 Tropical Horns
- 42 Rubber Clav
- 43 Strings 2
- 44 Edge Piano
- 45 Hymn Organ
- 46 Recorder

47 Long Chimes
48 Unison Fear
49 Comp Horns
50 Bells
51 Strings 3
52 Soft Piano
53 Reed Organ
54 Vocal Wow
55 Marimba
56 Terror
57 F-Env Horns
58 S/H in Fifths
58 Polyphonic Porta
60 Steel Drums
61 Square Wave
62 Comp Synth
63 Unison Portamento
64 Delayed Mod
65 Tenth Decay
66 Sitar
67 Fiddle
68 Pulse Comp
69 PW Rezz
70 Comedy Comp
71 Jazz Solo
72 Earthquake
73 S/H Port
74 Conga
75 Strings 4
76 Funk Keys
77 Organ
78 Tremolo Rezz
79 Box O'Pups
80 Martian Hop

- 81 Claps
- 82 Carillion
- 83 Solo Strings
- 84 Tuned Bees
- 85 Rezz Reeds
- 86 Three Way
- 87 Percussion
- 88 Chopper
- 89 Io
- 90 S/H PW
- 91 Strings 5
- 92 Clarinet
- 93 Bright Drone
- 94 Rock Solo
- 95 Claves
- 96 Jet
- 97 Water Wiggle
- 98 Water Piano
- 99 Slower Strings
- 100 Flanged Piano
- 101 Space Bugs
- 102 Taped Voices
- 103 Thunder
- 104 Pong

- 36 リードピアノ
- 37 ペルクオルガン
- 38 サックス
- 39 ハープ 2
- 40 オリエンタルユニゾン
- 41 トロピカルホーン
- 42 ラバークラブ
- 43 スtrings 2
- 44 エッジピアノ

- 45 賛美歌オルガン
- 46 レコーダー
- 47 長いチャイム
- 48 ユニゾンフィアー
- 49 コンブホーン
- 50 ベル
- 51 ストリングス 3
- 52 ソフトピアノ
- 53 リードオルガン
- 54 ボーカルワウ
- 55 マリンバ
- 56 テロ
- 57 F-Env ホーン
- 58 5 度 S/H
- 58 ポリフォニックポルタ
スチールドラム 60 個
- 61 方形波
- 62 コンブシンセ
- 63 ユニゾンポルタメント
- 64 遅延モジュール
- 65 10 番目の崩壊
- 66 シタール
- 67 フィドル
- 68 パルスコンブ
- 69 PW レズ
- 70 コメディコンブ
- 71 ジャズソロ
- 72 地震
- 73 S/H ポート
- 74 コンガ
- 75 ストリングス 4
- 76 ファンク キー
- 77 オルガン
- 78 トレモロレズ

- 79 ボックス・オプス
- 80 マーシャンホップ
- 81 クラップ
- 82 カリリオン
- 83 ソロストリングス
- 84 チューニングされたミツバチ
- 85 レズリード
- 86 スリーウェイ
- 87 パーカッション
- 88 チョッパー
- 89 イオ
- 90S/HPW
- 91 ストリングス 5
- 92 クラリネット
- 93 ブライトドローン
- 94 ロックソロ
- 95 クラーベス
- 96 ジェット
- 97 ウォーターウィグル
- 98 ウォーターピアノ
- 99 遅い弦
- 100 フランジ付きピアノ
- 101 宇宙の虫
- 102 録音された音声
- 103 サンダー
- 104 ポン

22=====

MIDI Continuous Controllers

UB-Xa には、Banks AD にロードされた 403 のプリセット パッチが付属しています。これらはできます
編集して上書きしたり、独自の作品に置き換えたりすることができます。

パッチは UB-Xa の 4 つのパッチバンクのいずれかに保存でき、バックアップすることもできます。

Sysex ライブラリアンを使用してアップします。工場出荷時のプリセットをバンクに復元可能バンクベースで。

2 Breath Controller MSB	PerformanceBreathControl
3 Undefined 1 MSB	ManualMastertune
5 Portamento Time MSB	ControlPortamentoAmount
7 Volume MSB	ManualVolume
8 Balance MSB	ManualBalance
9 Undefined 2 MSB	ControlDetune
10 Pan MSB	ControlPanning
11 Expression Controller MSB	PerformanceExpression
15 Undefined 4 MSB	ModulationLFORate
16 General Purpose 1 MSB	PerformanceGeneralPurpose1
17 General Purpose 2 MSB	PerformanceGeneralPurpose2
18 General Purpose 3 MSB	PerformanceGeneralPurpose3
19 General Purpose 4 MSB	PerformanceGeneralPurpose4
20 Undefined 5 MSB	ModulationChannel1Amount
21 Undefined 6 MSB	ModulationChannel2Amount
22 Undefined 7 MSB	OscillatorsOSC1Transpose
23 Undefined 8 MSB	OscillatorsOSC1PWAmount
24 Undefined 9 MSB	OscillatorsOSC2Transpose
25 Undefined 10 MSB	OscillatorsOSC2PWAmount
26 Undefined 11 MSB	FilterFrequency
27 Undefined 12 MSB	FilterResonance
28 Undefined 13 MSB	FilterModulation
29 Undefined 14 MSB	FilterNoise
34 Breath Controller LSB	PerformanceBreathControl
35 Undefined 1 LSB	ManualMastertune
37 Portamento Time LSB	ControlPortamentoAmount
39 Volume LSB	ManualVolume
40 Balance LSB	ManualBalance

41 Undefined 2 LSB	ControlDetune
42 Pan LSB	ControlPanning
43 Expression Controller LSB	PerformanceExpression
47 Undefined 4 LSB	ModulationLFORate
48 General Purpose 1 LSB	PerformanceGeneralPurpose1
49 General Purpose 2 LSB	PerformanceGeneralPurpose2
50 General Purpose 3 LSB	PerformanceGeneralPurpose3
51 General Purpose 4 LSB	PerformanceGeneralPurpose4
52 Undefined 5 LSB	ModulationChannel1Amount
53 Undefined 6 LSB	ModulationChannel2Amount
54 Undefined 7 LSB	OscillatorsOSC1Transpose
55 Undefined 8 LSB	OscillatorsOSC1PWAmount
56 Undefined 9 LSB	OscillatorsOSC2Transpose
57 Undefined 10 LSB	OscillatorsOSC2PWAmount
58 Undefined 11 LSB	FilterFrequency
59 Undefined 12 LSB	FilterResonance
60 Undefined 13 LSB	FilterModulation
61 Undefined 14 LSB	FilterNoise
64 Damper Pedal	FootSwitchDamper
66 Sostenuto	FootSwitchSostenuto
69 Hold Pedal	FootSwitchHold
71 Sound Control 2 Timbre	FilterResonance
72 Sound Control 3 Release	EnvelopesLoudnessR
73 Sound Control 4 Attack	EnvelopesLoudnessA
74 Sound Control 5 Brightness	PerformanceFilter
75 Sound Control 6 Decay	EnvelopesLoudnessD
76 Sound Control 7 Vibrato	Rate PerformanceLFORate
77 Sound Control 8 Vibrato	Depth PerformanceVibrato
78 Performance LFO Amount	PerformanceAmount
84 Portamento Control	ControlPortamentoAmount
85 Undefined 17	EnvelopesFilterA
86 Undefined 18	EnvelopesFilterD
87 Undefined 19	EnvelopesFilterS
88 Undefined 20	EnvelopesFilterR

89 Undefined 21
90 Undefined 22
102 Undefined 23
103 Undefined 24
105 Undefined 26
106 Undefined 27
107 Undefined 28
108 Undefined 29
109 Undefined 30
110 Undefined 31
111 Undefined 32
112 Undefined 33

EnvelopesLoudnessA
EnvelopesLoudnessD
EnvelopesLoudnessS
EnvelopesLoudnessR
ModMatrixBus1Amount
ModMatrixBus2Amount
ModMatrixBus3Amount
ModMatrixBus4Amount
ModMatrixBus5Amount
ModMatrixBus6Amount
ModMatrixBus7Amount
ModMatrixBus8Amount

23=====

MIDI NRPNs

MSB	LSB	14-bit	Parameter Name	Range	Scope	Notes
0	0	0	ControlPortamentoAmount	0~16383	patch	
0	1	1	ControlPortamentoBend	0~16383	patch	
0	2	2	ControlDetune	0~16383	patch	Signed Number, Midpoint is 8192.
0	3	3	ControlVoiceDetune	0~16383	patch	
0	4	4	ControlUnison	0~1	patch	
0	5	5	ControlPolyphonicVoiceCount	1~8	patch	
0	6	6	ControlUnisonVoiceCount	1~16	patch	
0	7	7	ControlPortamentoSettings	0~15	global	Bitmask: Match (0001) Quantize (0010) Bend (0100) Exponential (1000)
0	8	8	ControlAftertouchSmoother	0~255	global	
0	9	9	ControlUnisonNotePriority	0~2	global	Enumeration: Below (0), Above (1), Last (2),
0	10	10	ControlChordModeNotePriority	0~2	global	Enumeration: Below (0), Above (1), Last (2),
0	11	11	ControlPortamentoSpread	0~255	global	
0	12	12	ControlPortamentoRange	0~255	global	
1	0	128	PerformanceVolume	0~16383	patch	
1	1	129	PerformanceSettings	0~63	program	Bitmask: Bend Osc2 only~Bend Osc1 & Osc2 (000001) Custom bend~Bend +/- 2 (000010) OSC1 (000100) OSC2 (001000) Upper (010000) Lower (100000)
1	2	130	PerformancePitchBendSensitivity	0~16383	program	
1	3	131	PerformanceTranspose	0~16383	program	Signed Number, Midpoint is 8192.
1	4	132	PerformanceLFORate	0~16383	program	
1	5	133	PerformanceLFOShapes	0~7	program	Enumeration: Sine (0), Saw (1), Square (2), InverseSaw (3), SH (4), Triangle (5), Sample Hold (6), Noise (7),
1	6	134	PerformanceFOChannelAmount	0~16383	program	
1	7	135	PerformanceFOMods	0~15	program	Bitmask: Track (0001) Envelope (0010) TempoLock (0100) LFOTrig (1000)
1	8	136	PerformanceMpePitchLowerSensitivity	0~96	global	
1	9	137	PerformanceMpePitchUpperSensitivity	0~96	global	
1	10	138	PerformanceLFOTrim	0~255	global	
2	0	256	ModulationLFOTrigPoint	0~16383	patch	
2	1	257	ModulationLFORate	0~16383	patch	
2	2	258	ModulationLFOPhase	0~16383	patch	
2	3	259	ModulationChannel1Amount	0~16383	patch	

2	4	260	ModulationChannel2Amount	0~16383	patch	
2	5	261	ModulationLF0Mods	0~15	patch	Bitmask: Track (0001) Envelope (0010) TempoLock (0100) LF0Trig (1000)
2	6	262	ModulationLF0Shapes	0~7	patch	Enumeration: Sine (0), Saw (1), Square (2), InverseSaw (3), SH (4), Triangle (5), Sample Hold (6), Noise (7),
2	7	263	ModulationChannel1Sends	0~7	patch	Bitmask: OSC1 (001) OSC2 (010) Filter (100)
2	8	264	ModulationChannel1Mods	0~3	patch	Bitmask: Quantize (01) Invert (10)
2	9	265	ModulationChannel2Sends	0~7	patch	Bitmask: OSC1 (001) OSC2 (010) Volume (100)
2	10	266	ModulationChannel2Mods	0~3	patch	Bitmask: Quantize (01) Invert (10)
2	11	267	ModulationLF0Trim	0~255	global	
2	12	268	ModulationQuirks	0~3	global	Bitmask: FlipSquare (01) FlipVCFMod (10)
3	0	384	EnvelopesFilterA	0~16383	patch	
3	1	385	EnvelopesFilterD	0~16383	patch	
3	2	386	EnvelopesFilterS	0~16383	patch	
3	3	387	EnvelopesFilterR	0~16383	patch	
3	4	388	EnvelopesLoudnessA	0~16383	patch	
3	5	389	EnvelopesLoudnessD	0~16383	patch	
3	6	390	EnvelopesLoudnessS	0~16383	patch	
3	7	391	EnvelopesLoudnessR	0~16383	patch	

24=====

MSB	LSB	14-bit	Parameter Name	Range	Scope	Notes
3	8	392	EnvelopesModChannel1A	0~16383	patch	
3	9	393	EnvelopesModChannel1Delay	0~16383	patch	
3	10	394	EnvelopesModChannel2A	0~16383	patch	
3	11	395	EnvelopesModChannel2Delay	0~16383	patch	
3	12	396	EnvelopesPedalR	0~16383	patch	
4	0	512	OscillatorsOSC1PWAmount	0~16383	patch	
4	1	513	OscillatorsOSC1Transpose	0~16383	patch	Signed Number, Midpoint is 8192.
4	2	514	OscillatorsOSC2PWAmount	0~16383	patch	
4	3	515	OscillatorsOSC2Transpose	0~16383	patch	Signed Number, Midpoint is 8192.
4	4	516	OscillatorsMode	0~3	patch	Bitmask: OSC2 sync on~OSC2 sync off (01) OSC2 f-env on~OSC2 f-env off (10)
4	5	517	OscillatorsOSC1State	0~7	patch	Bitmask: OSC1 full~OSC1 off (001) OSC1 VCO LFO 180~OSC1 VCO LFO 0 (010) OSC1 PWM LFO 180~OSC1 PWM LFO 0 (100)
4	6	518	OscillatorsOSC1Shapes	0~2	patch	Enumeration: Osc1 pulse (0), Osc1 saw (1), Osc1 tri (2),
4	7	519	OscillatorsOSC2State	0~2	patch	Enumeration: Osc2 half (0), Osc2 full (1), Osc2 off (2),
4	8	520	OscillatorsOSC2Shapes	0~2	patch	Enumeration: Osc2 pulse (0), Osc2 saw (1), Osc2 tri (2),
4	9	521	OscillatorsOSC1PWTrimL	0~255	global	
4	10	522	OscillatorsOSC1PWTrimR	127~255	global	
4	11	523	OscillatorsOSC2PWTrimL	0~255	global	
4	12	524	OscillatorsOSC2PWTrimR	127~255	global	
4	13	525	OscillatorsModDepth	6~48	global	
4	14	526	OscillatorsPWMDepth	0~255	global	
4	15	527	OscillatorsPWMOffsetShift	0~255	global	
4	16	528	OscillatorsChaos	0~63	global	
4	17	529	OscillatorsVPOError	0~31	global	
4	18	530	OscillatorsDriftSpeed	0~63	global	
4	19	531	OscillatorsVPOErrorChaos	0~63	global	
4	20	532	OscillatorsOscAutoInitF	0~127	global	
4	21	533	OscillatorsFEnvRange	1~63	global	
5	0	640	FilterFrequency	0~16383	patch	
5	1	641	FilterResonance	0~16383	patch	
5	2	642	FilterModulation	0~16383	patch	
5	3	643	FilterNoise	0~16383	patch	

5	4	644	FilterModes	0~3	patch	Bitmask: Filter track on~Filter track off (01) 4 pole filter~2 pole filter (10)
5	5	645	FilterResonanceTrim	0~255	global	
5	6	646	FilterResonanceTrim4Pole	0~255	global	
5	7	647	FilterFrequencyRange	0~63	global	
5	8	648	FilterZero2pOffset	0~48	global	
5	9	649	FilterZero4pOffset	0~48	global	
5	10	650	FilterModulationRange	0~127	global	
5	11	651	FilterEnvLinearity	0~63	global	
5	12	652	FilterEnvChaos	0~31	global	
5	13	653	FilterLFORange	0~127	global	
5	14	654	FilterChaos	0~63	global	
5	15	655	FilterDriftSpeed	0~63	global	
5	16	656	FilterTrackOffset	0~63	global	
5	17	657	FilterPedalRange	0~96	global	
5	18	658	FilterVPOError	0~63	global	
5	19	659	FilterVPOErrorChaos	0~63	global	
5	20	660	FilterInitFreq	0~127	global	
6	0	768	ModMatrixBus1Amount	0~16383	patch	Signed Number, Midpoint is 8192.
6	1	769	ModMatrixBus2Amount	0~16383	patch	Signed Number, Midpoint is 8192.

MSB	LSB	14-bit	Parameter Name	Range	Scope	Notes
6	2	770	ModMatrixBus3Amount	0~16383	patch	Signed Number, Midpoint is 8192.
6	3	771	ModMatrixBus4Amount	0~16383	patch	Signed Number, Midpoint is 8192.
6	4	772	ModMatrixBus5Amount	0~16383	patch	Signed Number, Midpoint is 8192.
6	5	773	ModMatrixBus6Amount	0~16383	patch	Signed Number, Midpoint is 8192.
6	6	774	ModMatrixBus7Amount	0~16383	patch	Signed Number, Midpoint is 8192.
6	7	775	ModMatrixBus8Amount	0~16383	patch	Signed Number, Midpoint is 8192.
6	8	776	ModMatrixBus1Source	0~41	patch	Enumeration: Empty (0), ChannelPressure (1), PolyAftertouch (2), BreathControl (3), ModChannel1Envelope (4), ModChannel2Envelope (5), ModChannel1 (6), ModChannel2 (7), Expression (8), Cutoff (9), FilterEnvelope (10), KeyTrack (11), KeyTrackPoly (12), LoudnessEnvelope (13), MainLFO (14), SecondaryLFO (15), Noise (16), ModWheel (17), Oscillator1 (18), Oscillator2 (19), PulseWidth1 (20), PulseWidth2 (21), PitchBendAmount (22), Resonance (23), VoiceSlewer (24), PerformanceChannel (25), PanningLeft (26), PanningRight (27), KeyVelocity (28), SpreadFtn (29), GeneralPurpose1 (30), GeneralPurpose2 (31), GeneralPurpose3 (32), GeneralPurpose4 (33), ModWheelUp (34), ModWheelDown (35), MPETimbre (36), MPEPitch (37), MPEPressure (38), EightLEightR (39), FlipFlop (40), Spiral (41),
6	9	777	ModMatrixBus1Destination	0~29	patch	Enumeration: Empty (0), ButterInput (1), EnvelopesFilterA (2), EnvelopesFilterD (3), FilterFrequency (4), FilterModulation (5), FilterNoise (6), EnvelopesFilterR (7), FilterResonance (8), EnvelopesFilterS (9), EnvelopesLoudnessA (10), EnvelopesLoudnessD (11), EnvelopesLoudnessR (12), EnvelopesLoudnessS (13), ModulationChannel1Amount (14), ModulationChannel2Amount (15), ModulationLFOPhase (16), ModulationLFORate (17), OscillatorsOSC1PWAAmount (18), OscillatorsOSC1Transpose (19), ControlDetune (20), OscillatorsOSC2PWAAmount (21), OscillatorsOSC2Transpose (22), ControlPanning (23), ControlPortamentoAmount (24), PerformanceLFOChannelAmount (25), PerformanceLFORate (26), ManualMastertune (27), ControlVoiceDetune (28), PerformanceVolume (29), CutoffLfo (30), Oscillator1Modulation (31), Oscillator1Fenv (32), Oscillator2Modulation (33), Oscillator2Fenv (34), PulseWidth1Modulation (35), PulseWidth2Modulation (36), PanningLeftModulation (37), PanningRightModulation (38),
6	10	778	ModMatrixBus2Source	0~41	patch	Enumeration: Empty (0), ChannelPressure (1), PolyAftertouch (2), BreathControl (3), ModChannel1Envelope (4), ModChannel2Envelope (5), ModChannel1 (6), ModChannel2 (7), Expression (8), Cutoff (9), FilterEnvelope (10), KeyTrack (11), KeyTrackPoly (12), LoudnessEnvelope (13), MainLFO (14), SecondaryLFO (15), Noise (16), ModWheel (17), Oscillator1 (18), Oscillator2 (19), PulseWidth1 (20), PulseWidth2 (21), PitchBendAmount (22), Resonance (23), VoiceSlewer (24), PerformanceChannel (25), PanningLeft (26), PanningRight (27), KeyVelocity (28), SpreadFtn (29), GeneralPurpose1 (30), GeneralPurpose2 (31), GeneralPurpose3 (32), GeneralPurpose4 (33), ModWheelUp (34), ModWheelDown (35), MPETimbre (36), MPEPitch (37), MPEPressure (38), EightLEightR (39), FlipFlop (40), Spiral (41),
6	11	779	ModMatrixBus2Destination	0~29	patch	Enumeration: Empty (0), ButterInput (1), EnvelopesFilterA (2), EnvelopesFilterD (3), FilterFrequency (4), FilterModulation (5), FilterNoise (6), EnvelopesFilterR (7), FilterResonance (8), EnvelopesFilterS (9), EnvelopesLoudnessA (10), EnvelopesLoudnessD (11), EnvelopesLoudnessR (12), EnvelopesLoudnessS (13), ModulationChannel1Amount (14), ModulationChannel2Amount (15), ModulationLFOPhase (16), ModulationLFORate (17), OscillatorsOSC1PWAAmount (18), OscillatorsOSC1Transpose (19), ControlDetune (20), OscillatorsOSC2PWAAmount (21), OscillatorsOSC2Transpose (22), ControlPanning (23), ControlPortamentoAmount (24), PerformanceLFOChannelAmount (25), PerformanceLFORate (26), ManualMastertune (27), ControlVoiceDetune (28), PerformanceVolume (29), CutoffLfo (30), Oscillator1Modulation (31), Oscillator1Fenv (32), Oscillator2Modulation (33), Oscillator2Fenv (34), PulseWidth1Modulation (35), PulseWidth2Modulation (36), PanningLeftModulation (37), PanningRightModulation (38),
6	12	780	ModMatrixBus3Source	0~41	patch	Enumeration: Empty (0), ChannelPressure (1), PolyAftertouch (2), BreathControl (3), ModChannel1Envelope (4), ModChannel2Envelope (5), ModChannel1 (6), ModChannel2 (7), Expression (8), Cutoff (9), FilterEnvelope (10), KeyTrack (11), KeyTrackPoly (12), LoudnessEnvelope (13), MainLFO (14), SecondaryLFO (15), Noise (16), ModWheel (17), Oscillator1 (18), Oscillator2 (19), PulseWidth1 (20), PulseWidth2 (21), PitchBendAmount (22), Resonance (23), VoiceSlewer (24), PerformanceChannel (25), PanningLeft (26), PanningRight (27), KeyVelocity (28), SpreadFtn (29), GeneralPurpose1 (30), GeneralPurpose2 (31), GeneralPurpose3 (32), GeneralPurpose4 (33), ModWheelUp (34), ModWheelDown (35), MPETimbre (36), MPEPitch (37), MPEPressure (38), EightLEightR (39), FlipFlop (40), Spiral (41),

MSB	LSB	14-bit	Parameter Name	Range	Scope	Notes
6	13	781	ModMatrixBus3Destination	0~29	patch	Enumeration: Empty (0), ButterInput (1), EnvelopesFilterA (2), EnvelopesFilterD (3), FilterFrequency (4), FilterModulation (5), FilterNoise (6), EnvelopesFilterR (7), FilterResonance (8), EnvelopesFilterS (9), EnvelopesLoudnessA (10), EnvelopesLoudnessD (11), EnvelopesLoudnessR (12), EnvelopesLoudnessS (13), ModulationChannel1Amount (14), ModulationChannel2Amount (15), ModulationLFOPhase (16), ModulationLFORate (17), OscillatorsOSC1PWAmount (18), OscillatorsOSC1Transpose (19), ControlDetune (20), OscillatorsOSC2PWAmount (21), OscillatorsOSC2Transpose (22), ControlPanning (23), ControlPortamentoAmount (24), PerformanceLFOChannelAmount (25), PerformanceLFORate (26), ManualMasterTune (27), ControlVoiceDetune (28), PerformanceVolume (29), CutoffLfo (30), Oscillator1Modulation (31), Oscillator1Fenv (32), Oscillator2Modulation (33), Oscillator2Fenv (34), PulseWidth1Modulation (35), PulseWidth2Modulation (36), PanningLeftModulation (37), PanningRightModulation (38),
6	14	782	ModMatrixBus4Source	0~41	patch	Enumeration: Empty (0), ChannelPressure (1), PolyAftertouch (2), BreathControl (3), ModChannel1Envelope (4), ModChannel2Envelope (5), ModChannel1 (6), ModChannel2 (7), Expression (8), Cutoff (9), FilterEnvelope (10), KeyTrack (11), KeyTrackPoly (12), LoudnessEnvelope (13), MainLFO (14), SecondaryLFO (15), Noise (16), ModWheel (17), Oscillator1 (18), Oscillator2 (19), PulseWidth1 (20), PulseWidth2 (21), PitchBendAmount (22), Resonance (23), VoiceSlewer (24), PerformanceChannel (25), PanningLeft (26), PanningRight (27), KeyVelocity (28), SpreadFtn (29), GeneralPurpose1 (30), GeneralPurpose2 (31), GeneralPurpose3 (32), GeneralPurpose4 (33), ModWheelUp (34), ModWheelDown (35), MPETimbre (36), MPEPitch (37), MPEPressure (38), EightEightR (39), FlipFlop (40), Spiral (41),
6	15	783	ModMatrixBus4Destination	0~29	patch	Enumeration: Empty (0), ButterInput (1), EnvelopesFilterA (2), EnvelopesFilterD (3), FilterFrequency (4), FilterModulation (5), FilterNoise (6), EnvelopesFilterR (7), FilterResonance (8), EnvelopesFilterS (9), EnvelopesLoudnessA (10), EnvelopesLoudnessD (11), EnvelopesLoudnessR (12), EnvelopesLoudnessS (13), ModulationChannel1Amount (14), ModulationChannel2Amount (15), ModulationLFOPhase (16), ModulationLFORate (17), OscillatorsOSC1PWAmount (18), OscillatorsOSC1Transpose (19), ControlDetune (20), OscillatorsOSC2PWAmount (21), OscillatorsOSC2Transpose (22), ControlPanning (23), ControlPortamentoAmount (24), PerformanceLFOChannelAmount (25), PerformanceLFORate (26), ManualMasterTune (27), ControlVoiceDetune (28), PerformanceVolume (29), CutoffLfo (30), Oscillator1Modulation (31), Oscillator1Fenv (32), Oscillator2Modulation (33), Oscillator2Fenv (34), PulseWidth1Modulation (35), PulseWidth2Modulation (36), PanningLeftModulation (37), PanningRightModulation (38),

6	16	784	ModMatrixBus5Source	0~41	patch	Enumeration: Empty (0), ChannelPressure (1), PolyAftertouch (2), BreathControl (3), ModChannel1Envelope (4), ModChannel2Envelope (5), ModChannel1 (6), ModChannel2 (7), Expression (8), Cutoff (9), FilterEnvelope (10), KeyTrack (11), KeyTrackPoly (12), LoudnessEnvelope (13), MainLFO (14), SecondaryLFO (15), Noise (16), ModWheel (17), Oscillator1 (18), Oscillator2 (19), PulseWidth1 (20), PulseWidth2 (21), PitchBendAmount (22), Resonance (23), VoiceSlewer (24), PerformanceChannel (25), PanningLeft (26), PanningRight (27), KeyVelocity (28), SpreadFtn (29), GeneralPurpose1 (30), GeneralPurpose2 (31), GeneralPurpose3 (32), GeneralPurpose4 (33), ModWheelUp (34), ModWheelDown (35), MPETimbre (36), MPEPitch (37), MPEPressure (38), EightLEightR (39), FlipFlop (40), Spiral (41),
6	17	785	ModMatrixBus5Destination	0~29	patch	Enumeration: Empty (0), ButterInput (1), EnvelopesFilterA (2), EnvelopesFilterD (3), FilterFrequency (4), FilterModulation (5), FilterNoise (6), EnvelopesFilterR (7), FilterResonance (8), EnvelopesFilterS (9), EnvelopesLoudnessA (10), EnvelopesLoudnessD (11), EnvelopesLoudnessR (12), EnvelopesLoudnessS (13), ModulationChannel1Amount (14), ModulationChannel2Amount (15), ModulationLFOPhase (16), ModulationLFORate (17), OscillatorsOSC1PWAAmount (18), OscillatorsOSC1Transpose (19), ControlDetune (20), OscillatorsOSC2PWAAmount (21), OscillatorsOSC2Transpose (22), ControlPanning (23), ControlPortamentoAmount (24), PerformanceLFOChannelAmount (25), PerformanceLFORate (26), ManualMastertune (27), ControlVoiceDetune (28), PerformanceVolume (29), CutoffLfo (30), Oscillator1Modulation (31), Oscillator1Fenv (32), Oscillator2Modulation (33), Oscillator2Fenv (34), PulseWidth1Modulation (35), PulseWidth2Modulation (36), PanningLeftModulation (37), PanningRightModulation (38),
6	18	786	ModMatrixBus6Source	0~41	patch	Enumeration: Empty (0), ChannelPressure (1), PolyAftertouch (2), BreathControl (3), ModChannel1Envelope (4), ModChannel2Envelope (5), ModChannel1 (6), ModChannel2 (7), Expression (8), Cutoff (9), FilterEnvelope (10), KeyTrack (11), KeyTrackPoly (12), LoudnessEnvelope (13), MainLFO (14), SecondaryLFO (15), Noise (16), ModWheel (17), Oscillator1 (18), Oscillator2 (19), PulseWidth1 (20), PulseWidth2 (21), PitchBendAmount (22), Resonance (23), VoiceSlewer (24), PerformanceChannel (25), PanningLeft (26), PanningRight (27), KeyVelocity (28), SpreadFtn (29), GeneralPurpose1 (30), GeneralPurpose2 (31), GeneralPurpose3 (32), GeneralPurpose4 (33), ModWheelUp (34), ModWheelDown (35), MPETimbre (36), MPEPitch (37), MPEPressure (38), EightLEightR (39), FlipFlop (40), Spiral (41),

MSB	LSB	14-bit	Parameter Name	Range	Scope	Notes
6	19	787	ModMatrixBus6Destination	0~29	patch	Enumeration: Empty (0), ButterInput (1), EnvelopesFilterA (2), EnvelopesFilterD (3), FilterFrequency (4), FilterModulation (5), FilterNoise (6), EnvelopesFilterR (7), FilterResonance (8), EnvelopesFilterS (9), EnvelopesLoudnessA (10), EnvelopesLoudnessD (11), EnvelopesLoudnessR (12), EnvelopesLoudnessS (13), ModulationChannel1Amount (14), ModulationChannel2Amount (15), ModulationLFOPhase (16), ModulationLFORate (17), OscillatorsOSC1PWAmount (18), OscillatorsOSC1Transpose (19), ControlDetune (20), OscillatorsOSC2PWAmount (21), OscillatorsOSC2Transpose (22), ControlPanning (23), ControlPortamentoAmount (24), PerformanceLFOChannelAmount (25), PerformanceLFORate (26), ManualMastertune (27), ControlVoiceDetune (28), PerformanceVolume (29), CutoffLfo (30), Oscillator1Modulation (31), Oscillator1Fenv (32), Oscillator2Modulation (33), Oscillator2Fenv (34), PulseWidth1Modulation (35), PulseWidth2Modulation (36), PanningLeftModulation (37), PanningRightModulation (38),
6	20	788	ModMatrixBus7Source	0~41	patch	Enumeration: Empty (0), ChannelPressure (1), PolyAftertouch (2), BreathControl (3), ModChannel1Envelope (4), ModChannel2Envelope (5), ModChannel1 (6), ModChannel2 (7), Expression (8), Cutoff (9), FilterEnvelope (10), KeyTrack (11), KeyTrackPoly (12), LoudnessEnvelope (13), MainLFO (14), SecondaryLFO (15), Noise (16), ModWheel (17), Oscillator1 (18), Oscillator2 (19), PulseWidth1 (20), PulseWidth2 (21), PitchBendAmount (22), Resonance (23), VoiceSlewer (24), PerformanceChannel (25), PanningLeft (26), PanningRight (27), KeyVelocity (28), SpreadFtn (29), GeneralPurpose1 (30), GeneralPurpose2 (31), GeneralPurpose3 (32), GeneralPurpose4 (33), ModWheelUp (34), ModWheelDown (35), MPETimbre (36), MPEPitch (37), MPEPressure (38), EightLEightR (39), FlipFlop (40), Spiral (41),
6	21	789	ModMatrixBus7Destination	0~29	patch	Enumeration: Empty (0), ButterInput (1), EnvelopesFilterA (2), EnvelopesFilterD (3), FilterFrequency (4), FilterModulation (5), FilterNoise (6), EnvelopesFilterR (7), FilterResonance (8), EnvelopesFilterS (9), EnvelopesLoudnessA (10), EnvelopesLoudnessD (11), EnvelopesLoudnessR (12), EnvelopesLoudnessS (13), ModulationChannel1Amount (14), ModulationChannel2Amount (15), ModulationLFOPhase (16), ModulationLFORate (17), OscillatorsOSC1PWAmount (18), OscillatorsOSC1Transpose (19), ControlDetune (20), OscillatorsOSC2PWAmount (21), OscillatorsOSC2Transpose (22), ControlPanning (23), ControlPortamentoAmount (24), PerformanceLFOChannelAmount (25), PerformanceLFORate (26), ManualMastertune (27), ControlVoiceDetune (28), PerformanceVolume (29), CutoffLfo (30), Oscillator1Modulation (31), Oscillator1Fenv (32), Oscillator2Modulation (33), Oscillator2Fenv (34), PulseWidth1Modulation (35), PulseWidth2Modulation (36), PanningLeftModulation (37), PanningRightModulation (38),

6	22	790	ModMatrixBus8Source	0~41	patch	Enumeration: Empty (0), ChannelPressure (1), PolyAftertouch (2), BreathControl (3), ModChannel1Envelope (4), ModChannel2Envelope (5), ModChannel1 (6), ModChannel2 (7), Expression (8), Cutoff (9), FilterEnvelope (10), KeyTrack (11), KeyTrackPoly (12), LoudnessEnvelope (13), MainLFO (14), SecondaryLFO (15), Noise (16), ModWheel (17), Oscillator1 (18), Oscillator2 (19), PulseWidth1 (20), PulseWidth2 (21), PitchBendAmount (22), Resonance (23), VoiceSlewer (24), PerformanceChannel (25), PanningLeft (26), PanningRight (27), KeyVelocity (28), SpreadFtn (29), GeneralPurpose1 (30), GeneralPurpose2 (31), GeneralPurpose3 (32), GeneralPurpose4 (33), ModWheelUp (34), ModWheelDown (35), MPETimbre (36), MPEPitch (37), MPEPressure (38), EightLEightR (39), FlipFlop (40), Spiral (41),
6	23	791	ModMatrixBus8Destination	0~29	patch	Enumeration: Empty (0), ButterInput (1), EnvelopesFilterA (2), EnvelopesFilterD (3), FilterFrequency (4), FilterModulation (5), FilterNoise (6), EnvelopesFilterR (7), FilterResonance (8), EnvelopesFilterS (9), EnvelopesLoudnessA (10), EnvelopesLoudnessD (11), EnvelopesLoudnessR (12), EnvelopesLoudnessS (13), ModulationChannel1Amount (14), ModulationChannel2Amount (15), ModulationLFOPhase (16), ModulationLFORate (17), OscillatorsOSC1PWAmount (18), OscillatorsOSC1Transpose (19), ControlDetune (20), OscillatorsOSC2PWAmount (21), OscillatorsOSC2Transpose (22), ControlPanning (23), ControlPortamentoAmount (24), PerformanceLFOChannelAmount (25), PerformanceLFORate (26), ManualMastertune (27), ControlVoiceDetune (28), PerformanceVolume (29), CutoffLfo (30), Oscillator1Modulation (31), Oscillator1Fenv (32), Oscillator2Modulation (33), Oscillator2Fenv (34), PulseWidth1Modulation (35), PulseWidth2Modulation (36), PanningLeftModulation (37), PanningRightModulation (38),
7	0	896	UIPatchNameA	0~16383	patch	
7	1	897	UIPatchNameB	0~16383	patch	
7	2	898	UIPatchNameC	0~16383	patch	
7	3	899	UIPatchNameD	0~16383	patch	
7	4	900	UIPatchNameE	0~16383	patch	
7	5	901	UIPatchNameF	0~16383	patch	
7	6	902	UIPatchNameG	0~16383	patch	

MSB	LSB	14-bit	Parameter Name	Range	Scope	Notes
7	7	903	UIPatchNameH	0~16383	patch	
7	8	904	UIVintageKnobs	0~1	global	Enumeration: Extended (0), Purism (1),
7	9	905	UILastUpperPatchNumber	0~127	global	
7	10	906	UILastUpperPatchBank	0~3	global	
7	11	907	UILastSplitProgramNumber	0~35	global	
7	12	908	UILastDoubleProgramNumber	0~35	global	
7	13	909	UIAtrophyProfileNumber	0~7	global	
7	14	910	UILastPatch	0~15	global	Bitmask: Upper (0001) Lower (0010) Combo (0100) Split (1000)
8	0	1024	ArpeggiatorEnabled	0~1	patch	
8	1	1025	ArpeggiatorMode	0~11	patch	Enumeration: Up (0), Down (1), Inclusive (2), Exclusive (3), Random (4), Order (5), Up x2 (6), Down x2 (7), Up x3 (8), Down x3 (9), Up x2/x3 (10), Down x2/x3 (11),
8	2	1026	ArpeggiatorHold	0~1	patch	
8	3	1027	ArpeggiatorTime	0~6	patch	Enumeration: 1/4 notes (0), 1/8 notes (1), 1/16 notes (2), 1/32 notes (3), 1/4 triplets (4), 1/8 triplets (5), 1/16 triplets (6),
8	4	1028	ArpeggiatorGatetime	0~99	patch	
8	5	1029	ArpeggiatorSync	0~1	patch	Enumeration: Global (0), Retrigger (1),
8	6	1030	ArpeggiatorOctave	1~6	patch	
8	7	1031	ArpeggiatorSwing	0~10	patch	
8	8	1032	ArpeggiatorRepeat	0~10	patch	
8	9	1033	ArpeggiatorRest	0~255	patch	
9	0	1152	MidiTranspose	0~127	patch	
9	1	1153	MidiPatchTempo	40~240	patch	
9	2	1154	MidiTempo	40~240	global	
9	3	1155	MidiSync	0~2	global	Enumeration: Internal (0), USB (1), DIN (2),
9	4	1156	MidiSong	0~15	global	Bitmask: Position In (0001) Stop on Seek (0010) Stop all off (0100) Keystart seq (1000)

9	5	1157	MidiChannelUpperRx	0~17	global	Enumeration: Channel 1 (0), Channel 2 (1), Channel 3 (2), Channel 4 (3), Channel 5 (4), Channel 6 (5), Channel 7 (6), Channel 8 (7), Channel 9 (8), Channel 10 (9), Channel 11 (10), Channel 12 (11), Channel 13 (12), Channel 14 (13), Channel 15 (14), Channel 16 (15), All (16), None (17),
9	6	1158	MidiChannelLowerRx	0~17	global	Enumeration: Channel 1 (0), Channel 2 (1), Channel 3 (2), Channel 4 (3), Channel 5 (4), Channel 6 (5), Channel 7 (6), Channel 8 (7), Channel 9 (8), Channel 10 (9), Channel 11 (10), Channel 12 (11), Channel 13 (12), Channel 14 (13), Channel 15 (14), Channel 16 (15), All (16), None (17),
9	7	1159	MidiChannelUpperTX	0~16	global	Enumeration: Channel 1 (0), Channel 2 (1), Channel 3 (2), Channel 4 (3), Channel 5 (4), Channel 6 (5), Channel 7 (6), Channel 8 (7), Channel 9 (8), Channel 10 (9), Channel 11 (10), Channel 12 (11), Channel 13 (12), Channel 14 (13), Channel 15 (14), Channel 16 (15), RxChannel (16),
9	8	1160	MidiChannelLowerTX	0~16	global	Enumeration: Channel 1 (0), Channel 2 (1), Channel 3 (2), Channel 4 (3), Channel 5 (4), Channel 6 (5), Channel 7 (6), Channel 8 (7), Channel 9 (8), Channel 10 (9), Channel 11 (10), Channel 12 (11), Channel 13 (12), Channel 14 (13), Channel 15 (14), Channel 16 (15), RxChannel (16),
9	9	1161	MidiLocalControl	0~255	global	Bitmask: Local Ctrl (00000001) Din Rt (00000010) Din Clock (00000100) USB Rt (00001000) USB Clock (00010000) ProgChngeRx (00100000) ProgChngeTx (01000000) NRPNTx (10000000)
9	10	1162	MidiForwarding	0~255	global	Bitmask: Din to Usb (00000001) Usb to Din (00000010) Din to Din (00000100) Rt to Usb (00001000) Rt to Din (00010000) Clk to Din (00100000) Clk to Usb (01000000) ArpSeq Sel (10000000)
9	11	1163	MidiUSBControl	0~15	global	Bitmask: USB NRPN TX (0001) USB NRPN RX (0010) USB CC TX (0100) USB CC RX (1000)
9	12	1164	MidiDinControl	0~15	global	Bitmask: DIN NRPN TX (0001) DIN NRPN RX (0010) DIN CC TX (0100) DIN CC RX (1000)
9	13	1165	MidiMpeProfile	0~2	global	Enumeration: Disabled (0), Single (1), Zones (2),
10	0	1280	KeyboardSplitPoint	0~127	program	
10	1	1281	KeyboardVelocityCurviness	0~2	global	Enumeration: Soft (0), Medium (1), Hard (2),
10	2	1282	KeyboardVelocityScaling	0~255	global	
10	3	1283	KeyboardAftertouchAssignment	0~1	global	Enumeration: ChannelPressure (0), PolyAftertouch (1),
10	4	1284	KeyboardAftertouchCurviness	0~255	global	

MSB	LSB	14-bit	Parameter Name	Range	Scope	Notes
11	0	1408	PedalSustainAssignment	0~6	global	Enumeration: Patch Up (0), Patch Down (1), Program Up (2), Program Down (3), Sustain (4), Hold (5), Sostenuato (6),
11	1	1409	PedalSustainPolarity	0~2	global	Enumeration: Negative (0), Positive (1), Disabled (2),
11	2	1410	PedalSustainInternalLatch	0~1	global	Enumeration: Unlatched (0), Latched (1),
11	3	1411	PedalProgramAssignment	0~6	global	Enumeration: Patch Up (0), Patch Down (1), Program Up (2), Program Down (3), Sustain (4), Hold (5), Sostenuato (6),
11	4	1412	PedalProgramPolarity	0~2	global	Enumeration: Negative (0), Positive (1), Disabled (2),
11	5	1413	PedalProgramInternalLatch	0~1	global	Enumeration: Unlatched (0), Latched (1),
11	6	1414	PedalHoldAssignment	0~6	global	Enumeration: Patch Up (0), Patch Down (1), Program Up (2), Program Down (3), Sustain (4), Hold (5), Sostenuato (6),
11	7	1415	PedalHoldPolarity	0~2	global	Enumeration: Negative (0), Positive (1), Disabled (2),
11	8	1416	PedalHoldInternalLatch	0~1	global	Enumeration: Unlatched (0), Latched (1),
11	9	1417	PedalVibratoAssignment	0~8	global	Enumeration: Filter (0), Vibrato (1), Attack (2), Release (3), Decay (4), General1 cc16 (5), General2 cc17 (6), General3 cc18 (7), General4 cc19 (8),
11	10	1418	PedalVibratoPolarity	0~2	global	Enumeration: Negative (0), Positive (1), Disabled (2),
11	11	1419	PedalVibratoLower	0~255	global	
11	12	1420	PedalVibratoUpper	0~255	global	
11	13	1421	PedalFilterAssignment	0~8	global	Enumeration: Filter (0), Vibrato (1), Attack (2), Release (3), Decay (4), General1 cc16 (5), General2 cc17 (6), General3 cc18 (7), General4 cc19 (8),
11	14	1422	PedalFilterPolarity	0~2	global	Enumeration: Negative (0), Positive (1), Disabled (2),
11	15	1423	PedalFilterLower	0~255	global	
11	16	1424	PedalFilterUpper	0~255	global	
12	0	1536	SysexDeviceld	0~15	global	Enumeration: Channel 1 (0), Channel 2 (1), Channel 3 (2), Channel 4 (3), Channel 5 (4), Channel 6 (5), Channel 7 (6), Channel 8 (7), Channel 9 (8), Channel 10 (9), Channel 11 (10), Channel 12 (11), Channel 13 (12), Channel 14 (13), Channel 15 (14), Channel 16 (15),
13	0	1664	VoiceToggle1to8	0~255	global	Bitmask: Voice 1 (00000001) Voice 2 (00000010) Voice 3 (00000100) Voice 4 (00001000) Voice 5 (00010000) Voice 6 (00100000) Voice 7 (01000000) Voice 8 (10000000)
13	1	1665	VoiceToggle9to16	0~255	global	Bitmask: Voice 9 (00000001) Voice 10 (00000010) Voice 11 (00000100) Voice 12 (00001000) Voice 13 (00010000) Voice 14 (00100000) Voice 15 (01000000) Voice 16 (10000000)
13	2	1666	VoiceIgnorePWMCalibration1to8	0~255	global	Bitmask: Voice 1 (00000001) Voice 2 (00000010) Voice 3 (00000100) Voice 4 (00001000) Voice 5 (00010000) Voice 6 (00100000) Voice 7 (01000000) Voice 8 (10000000)

13	3	1667	VoiceIgnorePWMCalibration9to16	0~255	global	Bitmask: Voice 9 (00000001) Voice 10 (00000010) Voice 11 (00000100) Voice 12 (00001000) Voice 13 (00010000) Voice 14 (00100000) Voice 15 (01000000) Voice 16 (10000000)
13	4	1668	VoiceIgnoreVCOCalibration1to8	0~255	global	Bitmask: Voice 1 (00000001) Voice 2 (00000010) Voice 3 (00000100) Voice 4 (00001000) Voice 5 (00010000) Voice 6 (00100000) Voice 7 (01000000) Voice 8 (10000000)
13	5	1669	VoiceIgnoreVCOCalibration9to16	0~255	global	Bitmask: Voice 9 (00000001) Voice 10 (00000010) Voice 11 (00000100) Voice 12 (00001000) Voice 13 (00010000) Voice 14 (00100000) Voice 15 (01000000) Voice 16 (10000000)
13	6	1670	VoiceIgnoreVCFCalibration1to8	0~255	global	Bitmask: Voice 1 (00000001) Voice 2 (00000010) Voice 3 (00000100) Voice 4 (00001000) Voice 5 (00010000) Voice 6 (00100000) Voice 7 (01000000) Voice 8 (10000000)
13	7	1671	VoiceIgnoreVCFCalibration9to16	0~255	global	Bitmask: Voice 9 (00000001) Voice 10 (00000010) Voice 11 (00000100) Voice 12 (00001000) Voice 13 (00010000) Voice 14 (00100000) Voice 15 (01000000) Voice 16 (10000000)
14	0	1792	SurfaceBrightness	0~32	global	
14	1	1793	SurfaceContrast	0~32	global	
14	2	1794	SurfaceLeverSettings	0~3	global	Bitmask: Invert Left (01) Invert Right (10)
14	3	1795	SurfaceFan	0~2	global	Enumeration: Enabled (0), TempCtrl (1), Disabled (2),
15	0	1920	BackgroundCalibrationSettings	0~2	global	Enumeration: Enabled (0), Only Auto (1), Disabled (2),
16	0	2048	AmplifierOffset	0~255	global	
16	1	2049	AmplifierOffset2P	0~255	global	
16	2	2050	AmplifierOffsetUni	0~255	global	
16	3	2051	AmplifierOffsetMaster	0~255	global	

MSB	LSB	14-bit	Parameter Name	Range	Scope	Notes
16	4	2052	AmplifierEnvLinearity	0~63	global	
16	5	2053	AmplifierEnvChaos	0~31	global	
17	0	2176	PanningVoice1	0~255	global	
17	1	2177	PanningVoice2	0~255	global	
17	2	2178	PanningVoice3	0~255	global	
17	3	2179	PanningVoice4	0~255	global	
17	4	2180	PanningVoice5	0~255	global	
17	5	2181	PanningVoice6	0~255	global	
17	6	2182	PanningVoice7	0~255	global	
17	7	2183	PanningVoice8	0~255	global	
17	8	2184	PanningVoice9	0~255	global	
17	9	2185	PanningVoice10	0~255	global	
17	10	2186	PanningVoice11	0~255	global	
17	11	2187	PanningVoice12	0~255	global	
17	12	2188	PanningVoice13	0~255	global	
17	13	2189	PanningVoice14	0~255	global	
17	14	2190	PanningVoice15	0~255	global	
17	15	2191	PanningVoice16	0~255	global	
18	0	2304	AtrophyProfileNameA	32~255	global	
18	1	2305	AtrophyProfileNameB	32~255	global	
18	2	2306	AtrophyProfileNameC	32~255	global	
18	3	2307	AtrophyProfileNameD	32~255	global	
18	4	2308	AtrophyProfileNameE	32~255	global	
18	5	2309	AtrophyProfileNameF	32~255	global	
19	0	2432	SequencerStepCount	0~128	patch	
19	1	2433	SequencerTime	0~6	patch	Enumeration: 1/4 notes (0), 1/8 notes (1), 1/16 notes (2), 1/32 notes (3), 1/4 triplets (4), 1/8 triplets (5), 1/16 triplets (6),
19	2	2434	SequencerGatettime	0~99	patch	
19	3	2435	SequencerSync	0~1	patch	Enumeration: Global (0), Retrigger (1),

MPE

MIDI Polyphonic Expression (多次元ポリフォニック エクスプレッションとも呼ばれる) は、2018 年に MIDI 製造者協会によって採用された MIDI 拡張機能です。演奏される各ノートに新しい MIDI チャンネルを割り当てることで、元の MIDI 仕様で利用可能なものよりもはるかに詳細に選択したパラメーターを制御できます (最大 15 ノート) なので、演奏されている他のノートに影響を与えることなく、各ノートのパラメータを調整できます。ベースチャンネルは共通 MIDI 用に予約されていますメッセージ。

UB-Xa には、MPE を使用する 2 つの方法があります。シングル オプションでは、チャンネル 1 をベース チャンネルとして使用し、残りの 15 を MPE に使用します。ただし、スプリットまたはダブルプログラムの場合は、

使用中はゾーン モードに切り替えることができます。ゾーン モードでは、2 つのベース チャンネル、チャンネル 1 が下部キーボード用、チャンネル 16 が上部キーボード用で、チャンネル 2 ~ 8 が使用されます。

下部キーボードの場合は MPE、上部キーボードの場合はチャンネル 9 ~ 15 です。選択は MIDI/USB メニュー (Shift & 65) のオプション 14 で、MPE を無効にすることもできます。これはデフォルトのオプションです。MPE をアクティブにすると、同じメニューのオプション 1 と 2 で選択された MIDI Rx チャンネルの選択が解除されます。

通常、MPE コントローラーは、ピッチベンド、音色 (フィルター カットオフ - MIDI CC #74)、およびチャンネル プレッシャーの 3 つのパラメーターを出力します。UB-Xa はピッチベンドと標準の音色。ただし、3 つのコントローラーはすべて変調マトリックスのソースとして使用できるため、許容される任意の宛先に適用できます。およびノートに個別に影響を与えるために、オフも MPE チャンネルに割り当てられます。15 (または 7 プラス 7) を超える音符が演奏される場合は、2 つ以上の音符が演奏されます。

ノートは必要に応じて 1 つのチャンネルに動的に割り当てられます。

上鍵盤と下鍵盤のピッチベンド感度は、MIDI/USB メニューのオプション 12 と 13 で個別に設定できます。

31=====

用語集

ADSR - アタック、ディケイ、サステイン、リリースの 4 つのステージを持つエンベロープジェネレーター。

Amplitude/振幅 - 音の音量

Aftertouch アフタータッチ - キーを押した後にキーボードに圧力が加えられたときに送信される MIDI データ

プレイ済みですが、まだ開催中です。

Arpeggiator/アルペジエーター - コードの音を生成するシンセサイザーの一部。

設定に応じて個別にアルペジオとして演奏します。

Atrophy/萎縮 - 劣化または悪化すること。ヴィンテージシンセサイザーのサウンドが変わる時間の経過とともに、生産ラインから出たばかりのモデルでも 30 年経つと同じサウンドではなくなります。

確かに、ベータ テスターのオリジナル シンセサイザーのサウンドはすべてわずかに異なります。

これは、内部の物理的な電子部品が「萎縮」するためです。の萎縮メニューは、ユーザーに小さくできるオプションを提供できることです

音声エンジンを微調整するため、サウンドが完璧ではなくなり、それを実現するために

彼らが OB-Xa に期待する音に近い音になります

Attack Time/アタックタイム - エンベロープの最初の段階。にかかる時間として指定されま

す。
キーを弾いたときにエンベロープが最大レベルに達するよ
うに調整します。

Attenuate/減衰 - 信号または変調ソースのレベルを下げること。

Bank/バンク - 多数のパッチのコレクション。

Cent/セント - チューニングの測定単位。1 半音を 100 セントに分けます。

Cutoff Frequency/カットオフ周波数 - フィルターが周波数をカットし始めるポイント。

Decay Time /ディケイ・タイム - エンベロープの第 2 段階。所要時間として指定
鍵盤を弾いている間にサウンドレベルが最大からサステイ
ンレベルまで低下します。

が開催されています。

デジタル オーディオ ワークステーション (DAW) - コンピューター ベースのソフトウェア
パッケージ。

オーディオおよび/または MIDI データの録音、編集、再
生が可能になります。

Envelope Generator /エンベロープ ジェネレーター - エンベロープ ジェネレーターを使用してサウンドの輪郭を整えることができます。

サウンドの振幅（ボリューム）に影響を与えるために最も一般的に使用されます。

フィルターに使用したり、ピッチに影響を与えたりします。

Filter/フィルター - フィルターは、カットオフ ポイントを上回るまたは下回る周波数を減衰します。

音の音色に影響を与えます。

Frequency Modulation (FM) /周波数変調 - ある周波数を使用して別の周波数を変調すること。

通常、低周波発振器からの低周波を使用して追加します。

サウンドにビブラートやトレモロを加えますが、1 つのオーディオ レベルを使用することもできます。

周波数を調整して別の周波数を変調すると、音色が変化します。

周波数/Frequency - 発振器が動作する 1 秒あたりのサイクル数 (Hz)。

Global/グローバル - すべてのパッチに影響するパラメータ。

Hertz (Hz)/ヘルツ - 周波数の測定単位。1 Hz は 1 秒あたり 1 サイクルです。

Invert - change to the opposite, so a positive becomes negative for example.

Invert /反転 - 逆に変更します。たとえば、正が負になります。

Keyboard Tracking/キーボード トラッキング - キーボードで演奏されたノートを使用して別のノートを調整します。

たとえば、パラメータ。

KiloHertz/キロヘルツ (kHz) - 1,000 Hz の一般的な略語。

Low Frequency Oscillator/低周波オシレーター (LFO) - 低速で動作し、

シンセサイザーの他の部分をモジュレートするために使用されます。

MPE – MIDI ポリフォニック表現 (多次元ポリフォニックとも呼ばれます) 表現)。MPE の詳細な説明については、MPE の章を参照してください。

Musical Instrument Digital Interface (MIDI) – 音楽を可能にするプロトコル
楽器、その他の周辺機器、DAW は、定義されたルールに従ってデータを渡します。
標準。

MIDI Clock/MIDI クロック – MIDI データの一部として送信されるタイミング信号。

MIDI Message/MIDI メッセージ – ある MIDI デバイスから別の MIDI デバイスに送信されるデータ
指示を構成します。

Mix/ミックス – 2 つ以上の信号間のバランス。

Modulation/モジュレーション – ソースを使用してデスティネーションのパラメータを制御すること。

.

Monophonic/モノフォニック – 一度に 1 つのノートのみを再生できます。

Noise/ノイズ – すべての周波数で構成されるランダムな音。

Note Priority/ノートの優先順位 – 最大数が次の場合にどのノートが演奏されるかを決定します。

超えた。通常は最低、最高、または最後です。 Octave – A
measure of pitch.

Octave/オクターブ – ピッチの単位。

Oscillator/オシレーター (Osc または VCO) – シンセサイザーの基本的な音源。

Oscillator Sync - 1 つのオシレーターのサイクルを同期させるプロセス別のサイクルに。

Output / 出力 - シンセサイザーの一部から送信される信号の両方を参照できます。別のソケット、または外部機器への接続に使用される物理ソケット。

Parameter/パラメータ - 値を変更できる設定。

Patch/パッチ - サウンドを構成するパラメーターの保存された組み合わせ。

Phase/位相 - 2 つの間の時間差を度単位で測定したもの
波形、または波形と固定基準点。

Pitch Bend /ピッチベンド - 演奏中にノートのピッチを上下に変更します。

Polyphonic/ポリフォニック - 一度に複数の音を演奏でき、音符として表現されます。
声の数。

Portamento/ポルタメント - 音符間のピッチを「滑らせる」効果です。
瞬時に変化します。

Pulse Wave /パルス波 - 方形波に似ていますが、その対称性は次のとおりです。
かわった。

Pulse Width Modulation /パルス幅変調 - パルス波の対称性の変調。

Rate/レート - アクションが発生する速度。

Release Time /リリースタイム - エンベロープの最終段階。所要時間として指定
キーが放されるとエンベロープはゼロになります。

Resonance/レゾナンス - カットオフ周波数を中心とした周波数の強調。

Sample & Hold/サンプル & ホールド (S&H) – 波形のサンプリング。通常は LFO または
ノイズ源を利用して、設定されたレートで一連の電圧を供給
します。

Sawtooth/ノコギリ波 – ノコギリの歯に似た波形で、瞬時に
リーディングエッジに続いて、ゼロポイントまで徐々に低下
します。

Self Oscillation /自己発振 – フィルターが正弦波出力を生成し始めるポイント
共振を過剰に利用したため。

Semitone/半音 – ピッチの単位。各オクターブには 12 の半音が含まれます。

Sequencer/シーケンサー – 一連のプログラムでプログラムできるシンセサイザーの一部。
ノートやコードが選択されたテンポで繰り返されます。

Signal Flow /信号フロー – シンセサイザーのある部分から別の部分への信号の経路。

Sine Wave /正弦波 – 基本周波数のみを含む滑らかな波形
高調波なし。

Square Wave /方形波 – から瞬時に変化する対称波形
ゼロ状態からフル状態まで。

Sustain Level /サステインレベル – エンベロープの 3 番目の段階。これは、
エンベロープはキーが放されるまでディケイ後も保持され
ます。

Synchronization/同期 (Sync) – デバイスのタイミングを調整します。
マスターとその他のマスターはそれに同期されます。

Trigger/トリガー – 機能のアクティブ化。たとえば、キーを押して実行を開始します。
エンベロープサイクル。

Tune/チューニング – 楽器のピッチを楽器のピッチと同じになるように調整すること
別の楽器。または、1 つのオシレーターを調整して、
他の。

Unison /ユニゾン – 同じキーで 2 つ以上のボイスを一緒に演奏します。

Universal Serial Bus /ユニバーサル シリアル バス (USB) – 接続に使用できるインターフェイス。

シンセサイザーを DAW に接続したり、ファームウェアのアップデートを受信したりできます。

Velocity/ベロシティ – 鍵盤を弾く強さ。モジュレーションソース。

Voltage Controlled Amplifier/電圧制御アンプ (VCA) – レベルを調整できるアンプ
たとえばエンベロープジェネレーターからの制御電圧。

33=====

連邦通信
委員会の遵守
情報



Responsible Party Name: Music Tribe Commercial NV Inc.
Address: 122 E. 42nd St.1,
8th Floor NY, NY 10168,
United States
Email Address: legal@musictribe.com

UB-Xa

この機器はテストされ、クラス B の制限に準拠していることが確認されています。
FCC 規則のパート 15 に準拠したデジタル デバイス。これらの制限は設計されています
住宅内での有害な干渉に対する合理的な保護を提供するため
インストール。この機器は無線周波数を生成、使用、および放射することができます。
指示に従って設置および使用しないと、エネルギーが供給され、次のような問題が発生する可
能性があります。
無線通信に対する有害な干渉。ただし、その保証はありません
特定の設置環境では干渉は発生しません。この機器が原因となった場合には、
ラジオまたはテレビの受信に対する有害な干渉。これは判断可能です。
機器の電源をオフにしてから再度オンにすることで、ユーザーは問題を修正するよう推奨され
ます。
以下の 1 つ以上の手段による干渉

- 受信アンテナの向きを変えるか、位置を変更します。
- 機器と受信機との距離を広げます。
- 機器を、接続されている回路とは異なる回路のコンセントに接続します。
受信機が接続されています。
- 販売店または経験豊富なラジオ/テレビ技術者に相談してください。

この機器は FCC 規則のパート 15 に準拠しています。操作は次のとおりです。
次の 2 つの条件:

- (1) このデバイスは有害な干渉を引き起こす可能性はありません。
- (2) このデバイスは、受信する可能性のある干渉を含む、あらゆる干渉を受け入れる必要があ
ります。

望ましくない動作を引き起こす可能性があります。

:

重要な情報:

Music Tribe によって明示的に承認されていない機器の変更または修正

ユーザーの機器を使用する権限を無効にすることができます。



ここに、Music Tribe はこの製品が指令に準拠していることを宣言します。
2014/35/EU、指令 2014/30/EU、指令 2011/65/EU および修正 2015/863/
EU、指令 2012/19/EU、規則 519/2012 REACH SVHC および指令
1907/2006/EC。

EU DoC の全文は <https://community.musictribe.com/> で入手できます。

EU 代表者: Music Tribe Brands DK A/S
住所: Gammel Strand 44、DK-1202 København K、デンマーク

英国代表者: Music Tribe Brands UK Ltd.
8th Floor, 20 Farringdon Street London EC4A 4AB, United Kingdom

34=====°

We Hear You
あなたの声を聞きます

